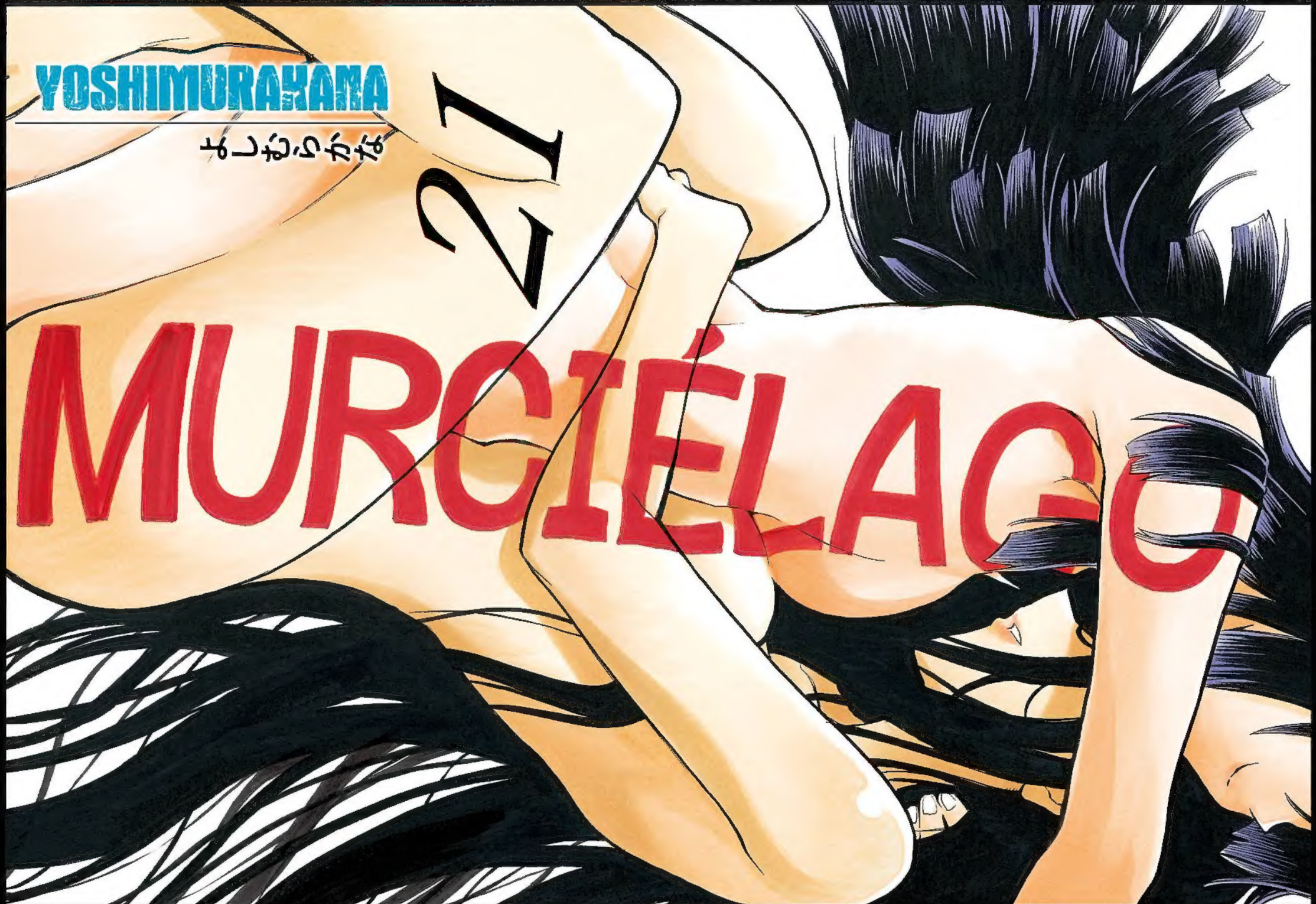
ムルシエラゴ 21

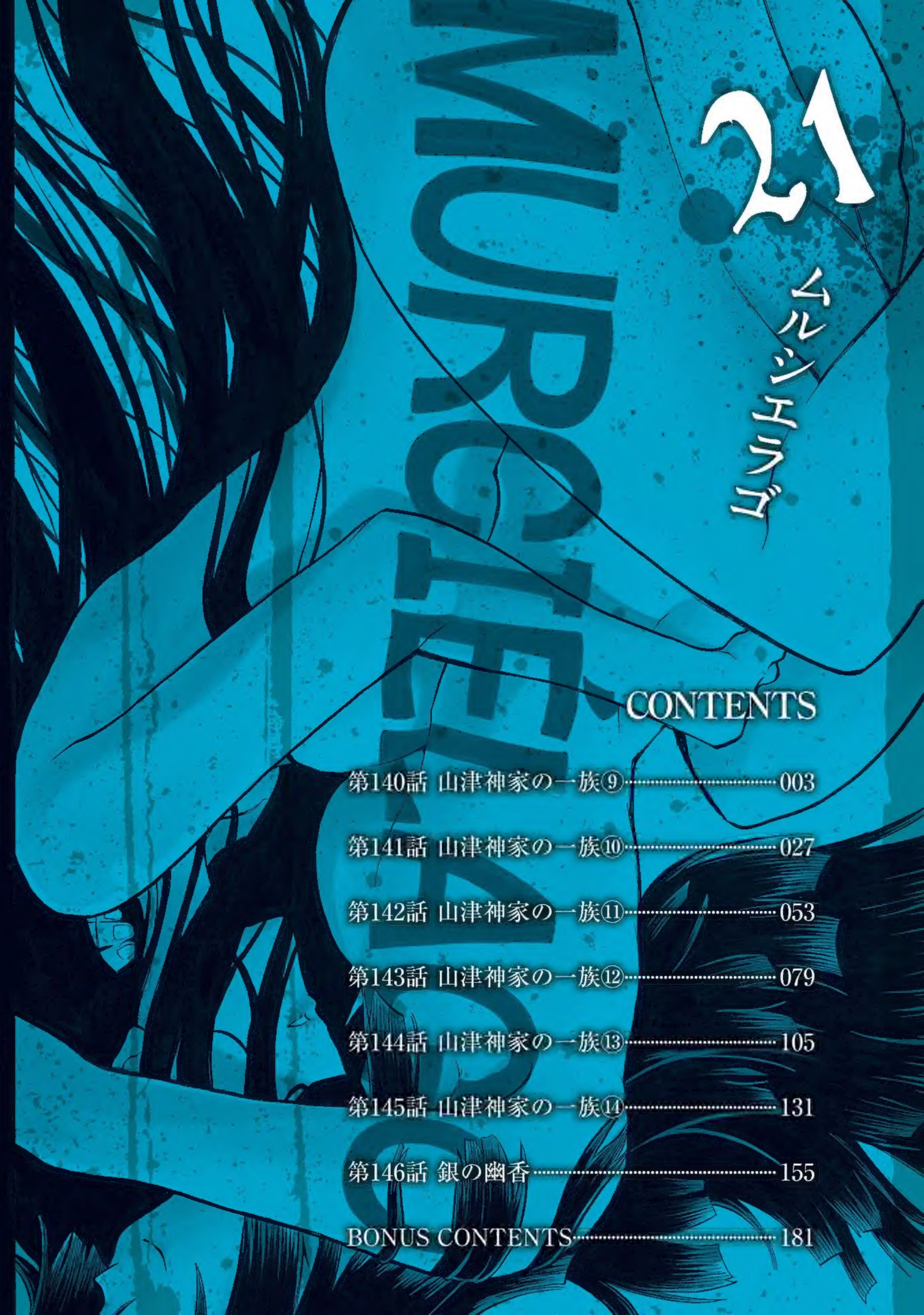
MURCIÉLAGO

よしむらかな

YOSHIMURAKANA

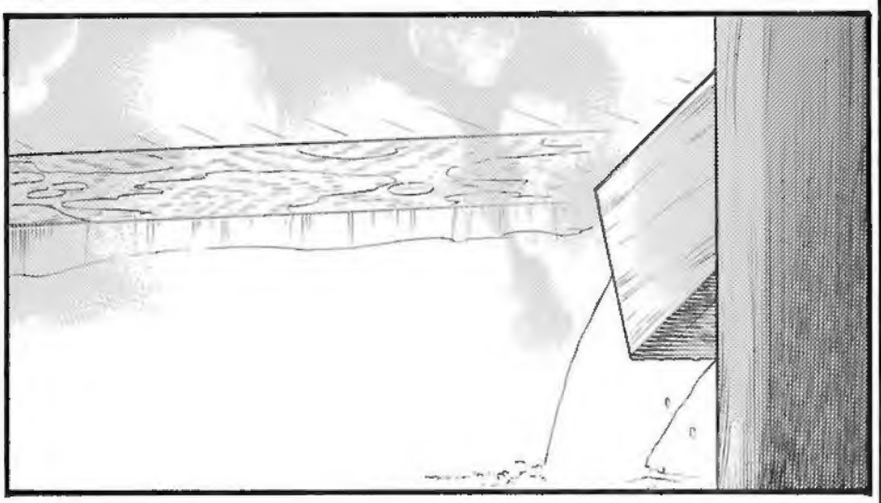
MURCIÉLAGO

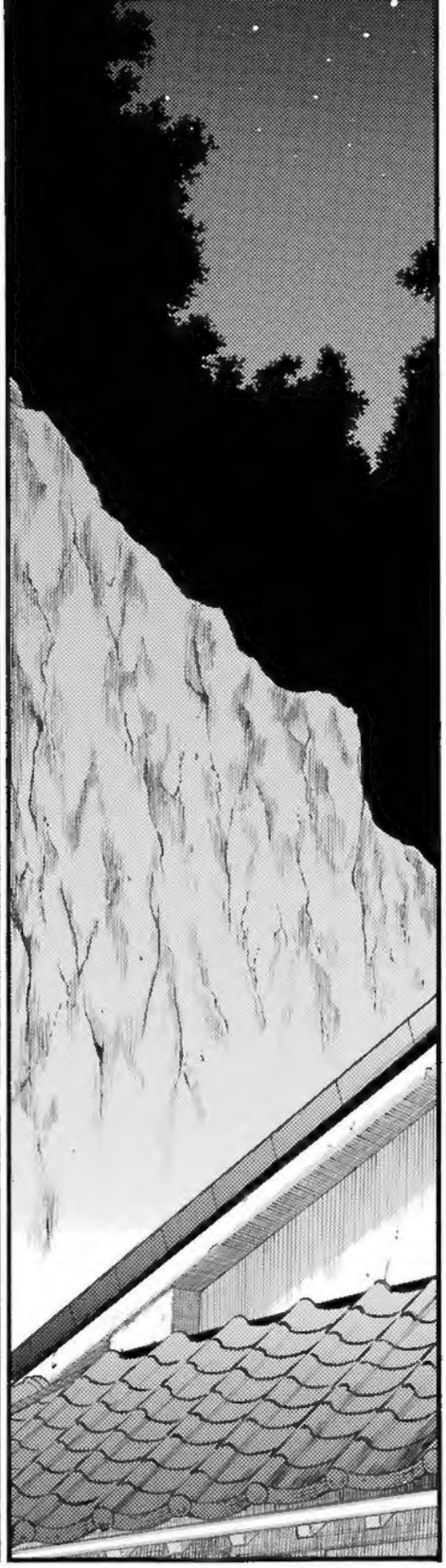

YOSHIMURAKAMA
よしむらかま
21
MURCIÉLAGO



CONTENTS

第140話 山津神家の一族⑨……003
第141話 山津神家の一族⑩……027
第142話 山津神家の一族⑪……053
第143話 山津神家の一族⑫……079
第144話 山津神家の一族⑬……105
第145話 山津神家の一族⑭……131
第146話 銀の幽香……155
BONUS CONTENTS……181





MURCIÉLAGO —ムルシエラゴ—

よしむらかな

あの…
すみません
わざわざ…
フフフ
おつかれでしょう
…ミドリですけど…

エンリョせずに
まかせてくだされ
ちょっと ひな子(こ)
それ貸してちょ

この聖剣ではなくて？
この聖剣ではなくてですか？
聖剣…？
これも地下の部屋で見つけたやつ？
Virginal Rose
うむ 着物の下にあり申した
この葉っぱの形…
確か…
ひな子
なに？

で
俺を誘いに
きたってワケかよ
いかにも
山 入んだろ？
ヤだよ お前
む
昨日 コエー目に
遭(あ)ったばっか
だっつのによ
むむ…
何かヤベーの
いるぜ あの山

ヤベーの…
お前も見たろ
あのスゲー
スピードのさ
あれお前
多分 人だぜ
風呂上がりの
千代と同じニオイが
したんだ

太古の昔からバケモンより
恐ろしいのはお前
この宿のシャンプー
と同じニオイだ
つまりヤベー
人間が
なんの話
してるの？
ちっ
千代…
む
千代ちゃん
風呂上がりの私が
ヤバイとかなんとか…

そっそんな話してねーって聞きちがいだろ
ん〜〜〜〜？
よろしいわね
な…なぁひな子
ニヤ…
—
えっとねー この山のどこかにバラが咲いてるところがあって…
ふふん
くーちゃんにそれを探してきてってたのまれたんだけども
ついでに昨日さとう水をぬった木にカブトムシを獲りに行こうって
そーそーそーだぜ
そういう話でゴザルゆえ
あらそう？
じゃ私もついてっていい？おもしろそう

えっ 千代も行くのかよ 危ねーぞ
マジで!?
ひな子ちゃん一人で行かせる方がよくないと思うけど
そりゃ…まあそうかもだけど…
……ひな子オメーどーしても行かなきゃダメか？
ナニ
任務ですゆえ
……
――仕方ねぇ
ヤッター
死体が出た宿に一人で残るのもコエーし…

確か…最初に
案内してくれた
女将さんだ
今回の事件と
何か関わりが…？

まァ
犯人にも予想外だったんだろうけ
…どっと
……オヤ？

オーイ ひな子
あんま先に
行くなよ
ハーイ
道覚えてんの
お前だけなんだし
ホントにわかって
んのか…？

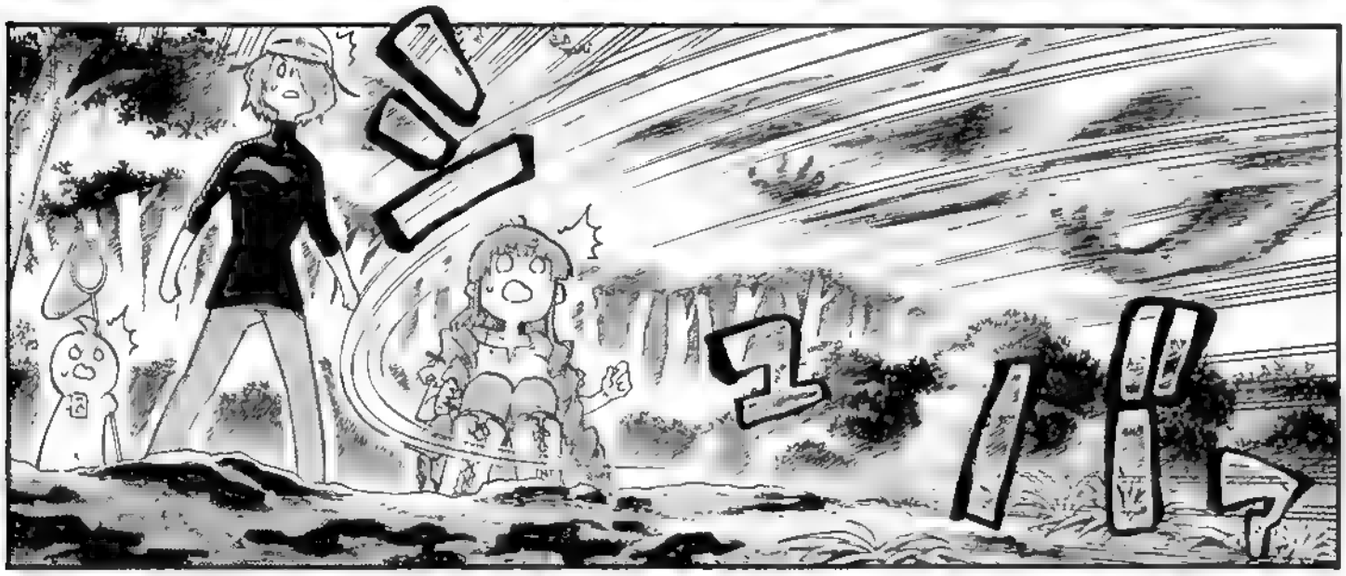
ところでもう
秋口(あきぐち)だけど
カブトムシってまだ
いるのかしら
そっか
そーいや そーだ
ムムッ
でも このあたりは
おんせんもあるし
他のところよりも
あったかいはずだし…

ガサ
ビクッ
ムッ

のそ…
こやつは…
ハクビシン
タヌキだろ
ビビらせやがって

アライグマじゃないの？
ホラホラ
ちちちちち…
オイオイ野生のやつにあんまり構うのよくねーぜ

わっ
きたきた
ひら…
ん…？
この葉っぱ…


ゴーン

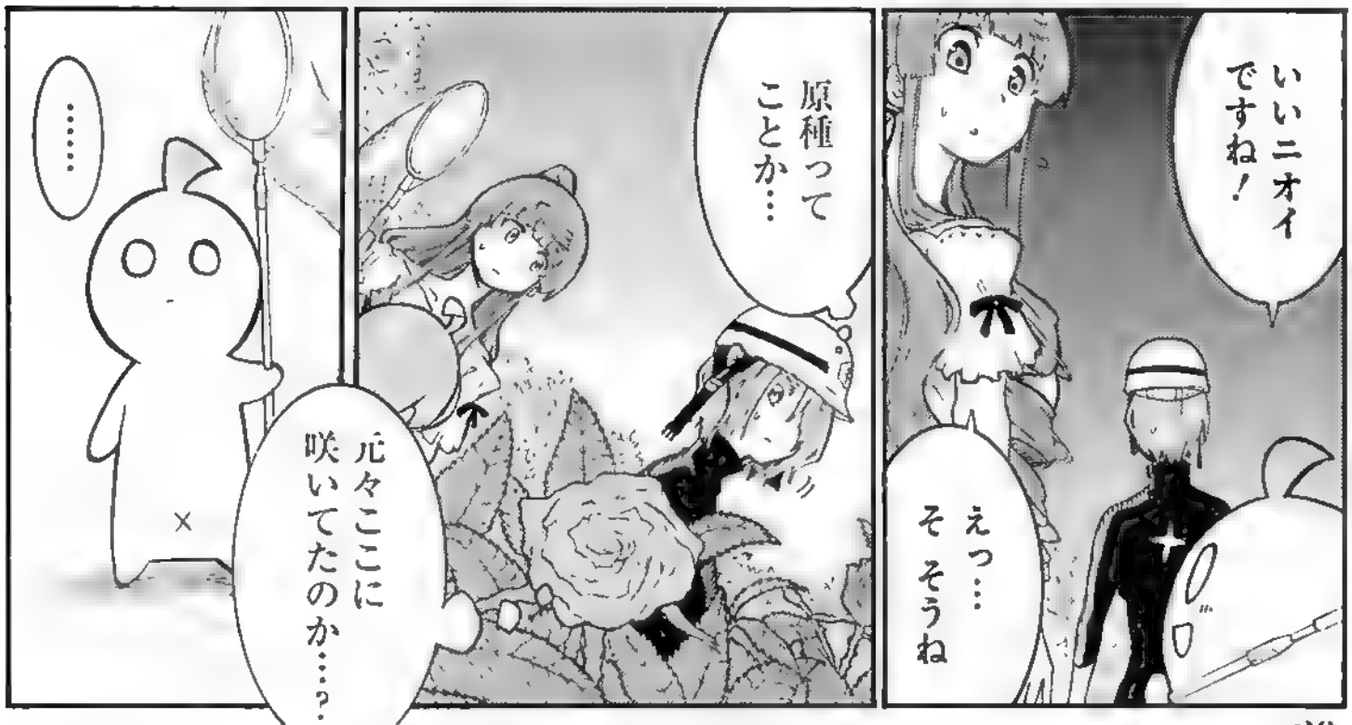
オイ 今のやつ
追いかけようぜ
もしかしたら
近くに…
さっきのタヌキに
多分バラの葉っぱが
ついてた
ニヤ
オリャー
スタタタタ
だから
待てってば！

こっちだ
どんどんニオイが
強くなってる
ハクビシンだと
おもうけどなぁ…
バラってそんなに
強い香りだっけ？
フツーのはそうじゃ
ねーかもだけど…
千代も心当たり
あるだろ
……
もしかして
かもだ
でも多分
合ってるぜ

なんでこんな所に…？
…同じだ 純潔の薔薇（ヴァージナルローズ）のバラと…
スゥ――

※単行本第3巻参照。

それはわからねぇ…けど
見た目とニオイが同じなだけかも
今のとこ心を落ち着かせる効果はなさそうだ


いいニオイですね！
えっ…そ そうね
原種ってことか…
……
元々ここに咲いてたのか…？

よし！
バラを見つけたので
くーちゃんの
指令はコンプリート！

そ…
そーだな
あんまここに
いてもしょーが
ねーか
このバラには
いい思い出が
ねーし
牛うな丼に
肝吸いをつけて
もらうのだ
ウッシッシ

えっ何ソレ
おいしそう
フフフのフ
ではわたしが
たのんで
あげましょう
——ちょっと
待てよ
…あれ…

あの奥の
あれって…
人じゃねーか?

ホント…
誰か倒れて
るわね…
オイオイ
死んでんじゃねー
だろーな
ムムッ

お前ら
そこにいろよ
わ
わかった
うむ
あいわかった
もし倒れてる
だけだとしたら
それはそれでお前
早く助けて
やんねーと
昨日のヤツに
やられたのかも
しんねー

お…おい
大丈夫かアンタ
……
生きてるか？

女の子…？
ケガとかは
してなさそうだ
けど…

心臓は
……!?

……
マジかよ

第140話
このニオイ…
昨日の…ッ
山津神家の一族⑨

MURCIÉLAGO

MURCIÉLAGO
ームルシエーラゴー
このニオイ…
昨日の…ッ
だれ…？
ムリ…。
おねえちゃんは…？
ウソだろ…
オイちょっと待(ま)つ…

MURCIÉLAGO
ムルシエラゴー
よしむらかな

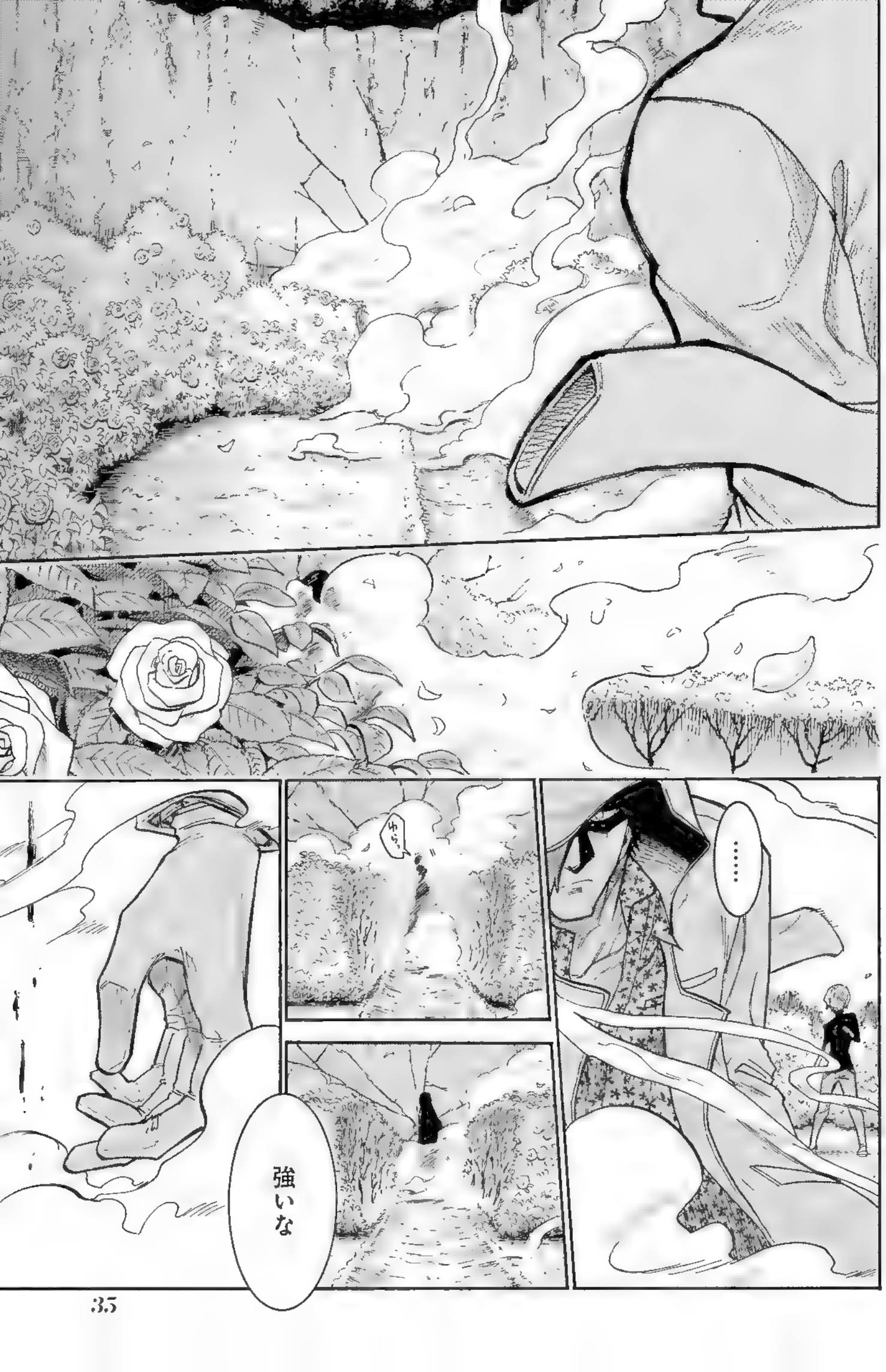
痛…っ
ドスン
……
あなた…
なに？
……
力を逸らした
だけだが…
ゴゴゴ
あの細腕で
凄まじい膂力…

なんらかの特異体質…か？
カリッ…
この子は倒れていた君を助け起こそうとしていたろう
――君こそなんだ？
なぜ攻撃した？
あ…ありが…
スッ
……なによ
カリ
ガリガリ
わ…けのわからないことをいって……

な…によなによ
なによ…
おねえちゃんじゃ
ないくせに…
ここにくるって…
やくそくしたのに…
あなたたちが…
おねえちゃんを…
……
話は
通じない
ようだな

おねえちゃん
を
かえせ!!
ギュルッ
かえせ!
かえせえ

オオ
オオ

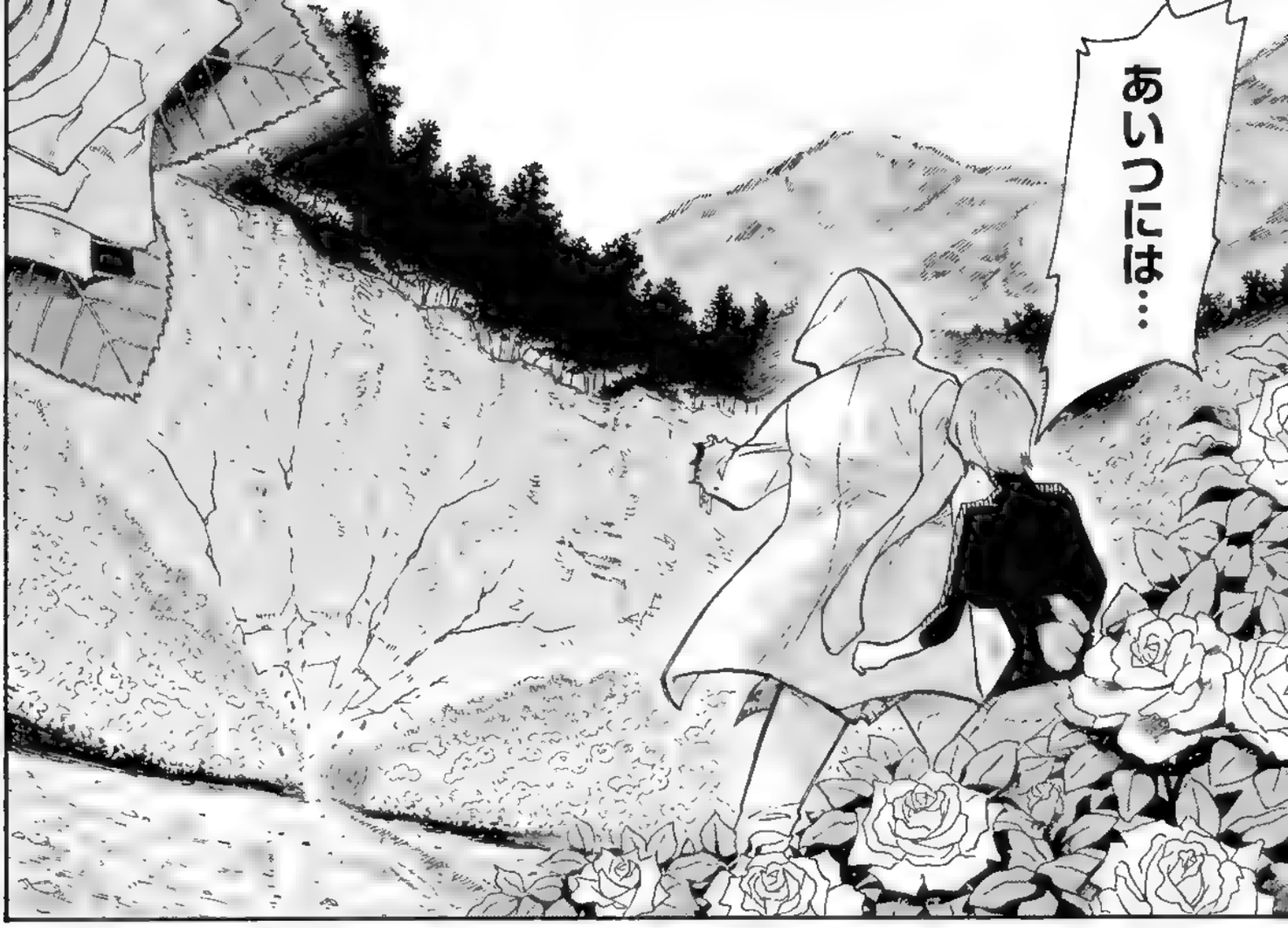

……
ちっ
強いな

今のは渾身だった
やはり普通の子供ではないらしい
――決めきれなかったか

——片腕だったのが悔やまれるな
これは…信じざるを得ないようだ
なっ…何してんだよ！
早く逃げね——と!!

な…なんか揉めてるみたいじゃない…？
ん〜〜〜？

——逃げる…？
助けてくれたコトは感謝してる…！
でも そ…その腕…？
そんな状態で戦ったって…


あいつには…

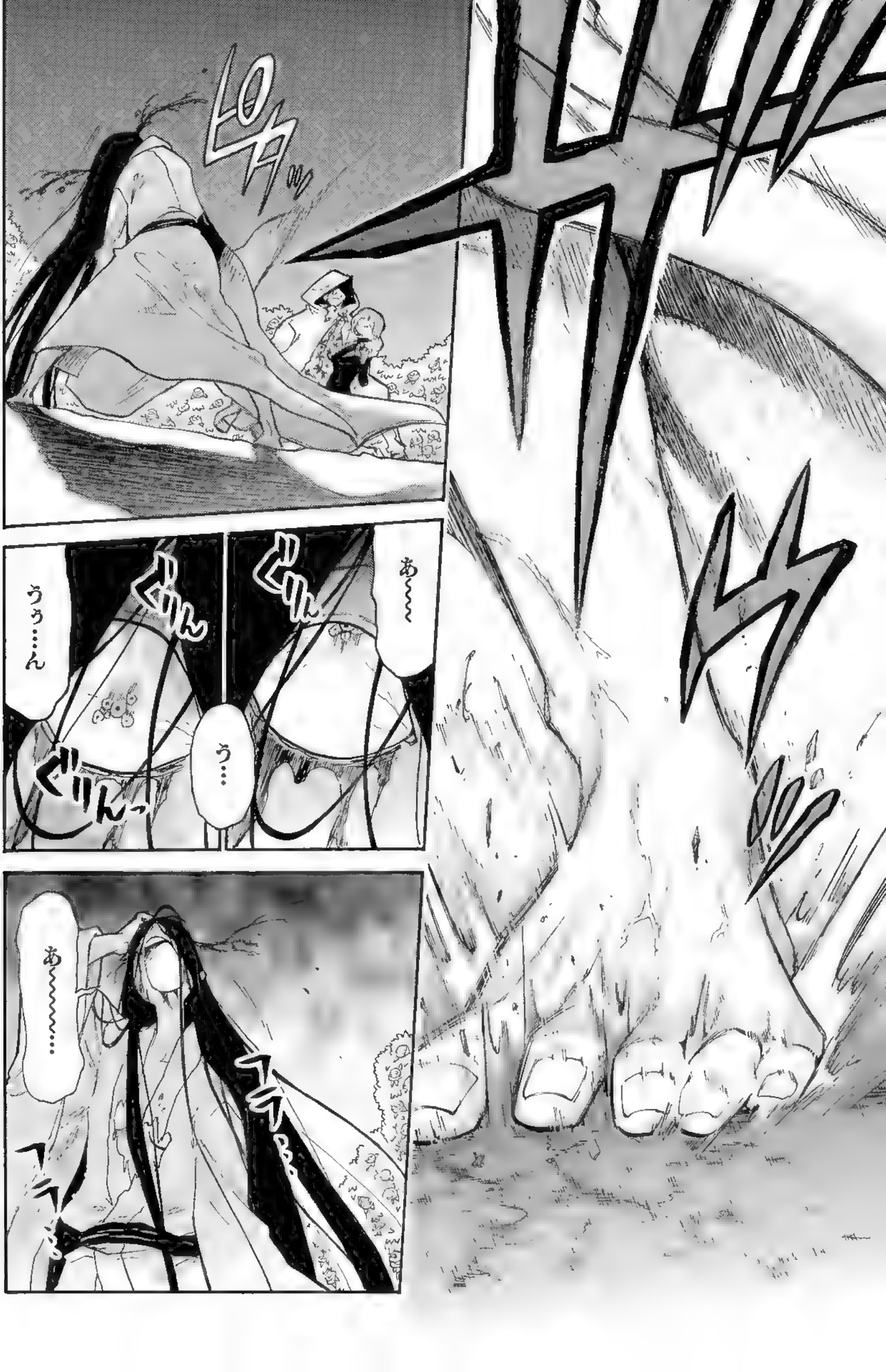
…ウソだろ
いなくなっちまった
…あちらが逃げる
とは思えない
俺の側を
離れるな

ギャ
ギャ
ギャ
ギッ
バカッ

ツバカ野郎!!
なんてことを…
……
お前…
もしかして——

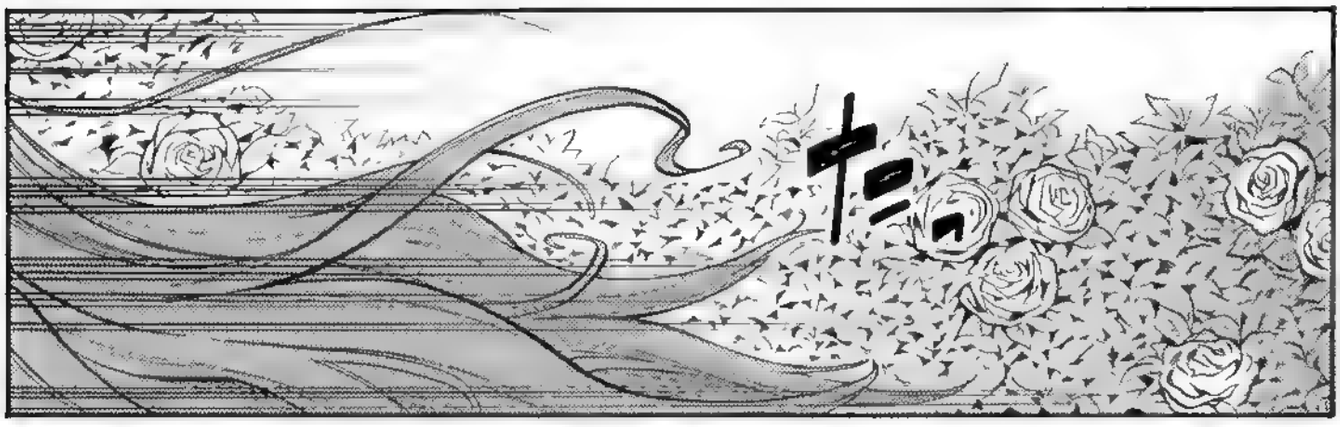
ナル…

ニヤ
ニヤ
ニヤ


ヒロム
あ～～～
ぐりん
ぐりん
う…
うぅ…ん
ぐりんっ
あ～～～…

第141話

山津神家の一族⑩



鳴海ちゃん!!
ナルミ……
やはり この子が
……

リヤーー!!!

ズキン
ズキンッ
ズキンッ
ズキンッ
ズキンッ
ズキン…
ゴゴゴ
これでおあいこ！
ゆるしてあげる!!

MURCIÉLAGO

ズキン…
ズキン…
ズキン…
ズキン…
い…
いた…
い…いたい
いたい
いたいよ…
おねえちゃん…
……
なんだ？様子が
MURCIELAGO
ムルシエラゴ

そんなにいたかった？
すまぬ
でもこれであいこだよ
オイ！そいつに近付くな
そいつは…
なかなおりのあくしゅをしましょう
キキ
こないでっ!!

…？
じん
じん
じん
ひっ…

MURCIÉLAGO
-ムルシエラゴ-

よしむらかな

ドゥ
なかなおりって
いったのに…
困ったちゃんめ

鳴…
海ちゃ…
ん？
ペロ！
そ
それ…
うで…うでが
君は…この子の
友達か
あ…
あなたは…？
今はそんなこと
どうでもいい
――この子の腕を
拾ってきてほしい

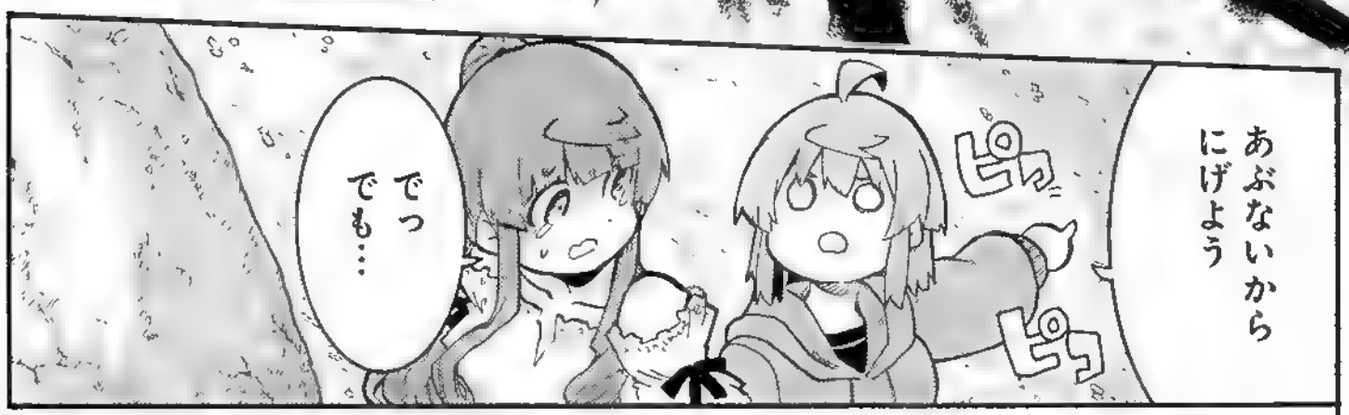
グッ…
……
キョロ
キョロ
あの黒髪の子供…
さっきは折れた腕が
治っていなかったな…
霊力も低下して
いたように見えた…
一体…
あっ…
あった…！
カラ

えっ
っっ!!!

ぷ――
？
かんいっぱつだね
ちよちゃん

あ…っ
ありがとう…
うむ。
!!
ごめん ひな子ちゃん！
鳴海ちゃんの腕…

そ…そんな
これじゃあ…
もう
元には…


あぶないから
にげよう
でっ
でも…
ピッ
ピッ

いいから
いいから
わ…
わかったけど…
ひな子ちゃんは
どうするの？

ドゴォ
チッ
ハァハァ
黒髪の子供がこれを投げているのか
力は戻っているようだな…
どうする…!?
ナルミを抱えたままでは…

ひな子ちゃん!!
ひな子ちゃんはどうするの？
わたしはあの子におしおきをせねばなりませぬゆえ

あああ
ああ
とおくから
ものなげてくるなんで
ヒキョーだもん
うららちゃんも
言ってたよ

ヒキヨーモノは
ゆるしちゃいけないって

あ…
ペキッ
えっ…

ひっ…

パキッ
もちあげられない
なんで
にげないとくる
ちからがはいらない
なんで…
あのひとがこわい
いたい
だめ
しんじゃう
こわい
たすけて
いたいよ
なんで

うあああ…
ビクッ
ああああ
むむ…泣かせてしまった
わ…わたしがわるものみたい…
いたいよう…
たすけ…
あの…
やだよぉ…
おね
おねえちゃあ…

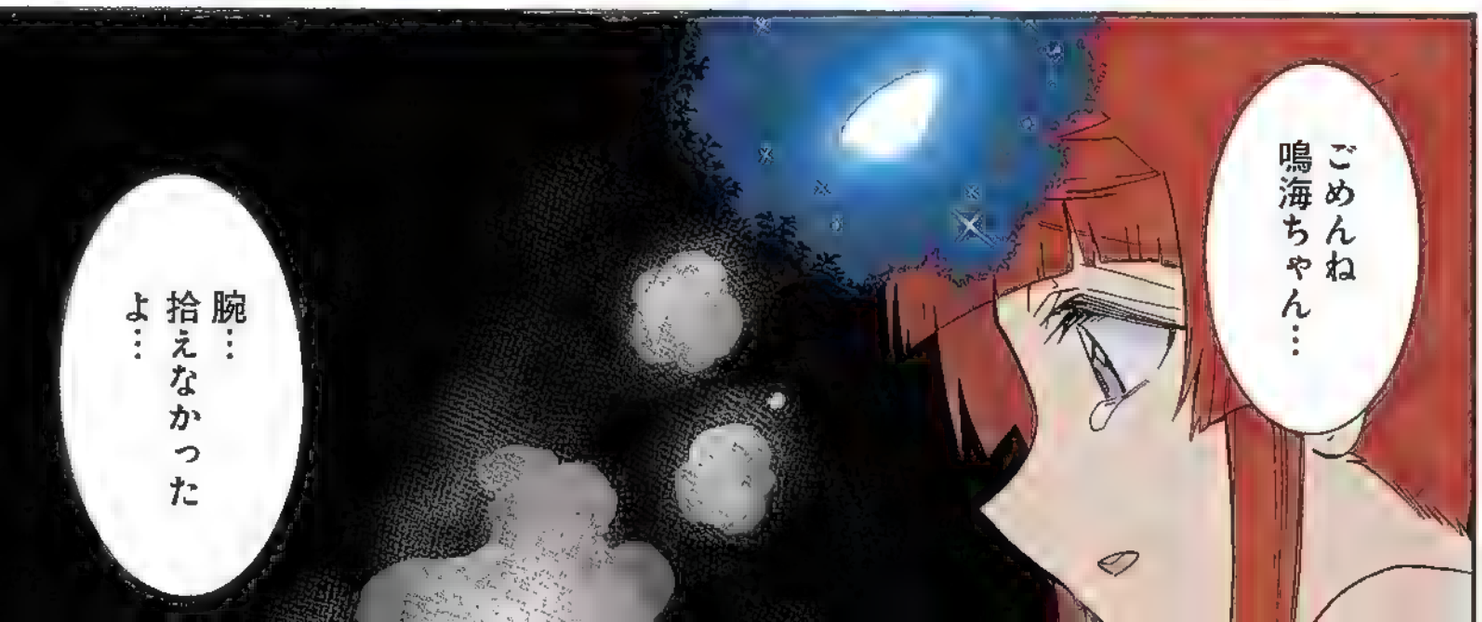
Hoi!
ハイドーモォ
くろこおねーさん
だよォ
おこんばんはぁ
君がアヤコ
ちゃんだネ
あれ？
くーちゃん
なんで？

なんでって…
……
ひな子に…
しつもんにこたえたまえ
死んで生き返ったというアヤコちゃん
フムムこのかんじ…
イーちゃんこわーい
いるんでしょ？
出てきなよ
なにが？
――ま今はいいか

第142話
山津神家の一族⑪

MURCIÉLAGO

MURCIÉLAGO
ームルシエラゴー



よしおちゃん

あの…
刑事さん…
どうして…？

MURCIÉLAGO

そういや 露天
入ってなかったなァー
と思って
Hoi!
いや
そうじゃ
なくて…
そうでもあるん
ですけど…
……
アヤコちゃんは…
今はおとなしく
してるね
あの…
ひな子と一緒のお湯
に入ってる内は大丈夫
そうかな
よきゆです。
ポッコ
なんで私が…
生きてるって

ああ
あの地下の…
……
おっぱいの大きさが
違ったし
そんな
ことで…
井戸の上にせり出した
枝にロープ跡も
ついてたし
あーこれ 入れ替わって
るなと思ったよ
枝のロープ跡は女将(おかみ)の
首吊りにも使ってゴマかそう
としてたんでしょ？
パチャ
パチャ
ひな子が
折っちゃった
んだけど

で これが女将の懐から出てきた遺書なんすけど
ピッ
なにそれ？
！
アヤコちゃんが女将のむす…
逮捕…しないんですか？
逮捕ってゆーか今あたし「オフ」だもんげ
あと…まあパッと見 ヒッドイ家族だったし殺されても別に…
もしや 金の匂い
ほしい
みせて
ほしい
何？お話したいコトがあるなら聞くよ
オネーサンに話してみよし
むむ
たいしたことはかいてない…
内容によっちゃ悪いようにはしないよぉ
まかせなさい。
……

私…
私が…全部
やりました…！
子供の頃から…
アヤコのことが
好きだった…から
一目惚れ…
だったと思います

今日からウチで
世話することになった
小山内菖蒲子(おさないアヤコ)
ちゃんだ
まァ妾(めかけ)の
子だな
クソ親父(おやじ)にも
情があったんだな
たしか…
あの女将の子
お兄様
チッ
出自なんて
どうでもよかった

お姉ちゃん
私達は
すぐに仲良く
なりました
アヤコ
あっ
お姉さま

次女の真砂(マサゴ)姉さまが
よく私達と
遊んでくれていて
私達は二人共
真砂姉さまが
大好きでした
……
長男の不祥事を見た
アヤコが地下に
幽閉されることが
決まった時も
新治(シンジ)兄さまには
…人の心という
ものが
最後まで反対
してくれていました
……!!
アヤコ(あのこ)が何を
見たっていうの?
まだ あんなに
幼いのに…

真砂姉さまがお世話係になった時も私は賛成でした
ダメよ美禰子はまだ子供でしょう
子供に子供のお世話はできないわ
アヤコのことを一番よくわかっていたのは真砂姉さまでしたから

しばらくして
事件が起こり
ました
アヤコを
逃がす…？
次男の桂(ケイ)がアヤコを
逃がそうと
したんです
でも どうして
俺に話し
たんだ？
新治(長男)の弱みを
握って――
父の
遺産分配を有利に
運ぼうとしたん
でしょうが…

※アカエリトリバネアゲハ（マレーシア）等

私は一人で
アヤコが埋められた
場所に戻りました
ちゃんと
お別れを
言うために…
アヤコ…
アヤコ…
なんで…
死ん…
でも…
でも…私が
愛してるから
その時——
真砂姉さんは
アヤコが死んだらすぐに
あきらめた
でも私は
地中から物音が
聞こえた
気がして…
アヤコが死んでも
関係ない
いつまでも
一緒に——

はぁ
はぁ
アヤコ…
私の…
私だけの…
おねぇ…ちゃん？

理由は
わかりません
でも死んだはずの
アヤコが生き返って
いました
死んでた…
ってのは
確か？
はい
間違いなく
なんとまぁ
死者蘇生…
異常な回復力と
怪力…
件のバラの
群生する山…
……
これは
確定と見ていいか

その後 アヤコは
この山にいくつかある
自然窟に身を隠し
私は屋敷と洞窟を
行き来する
二重生活が始まりました
ステキサボン
シャンプー
ステキサボン
コンディショナー
大丈夫？
アヤコ…
目に
しみない？
うん
ん もう
目開けていいよ

……
おねぇちゃん
えっ
ど…どうしたのアヤコ…
ありがとう
っ…
だいすき

やっ…
やめてアヤコ…！
私 そんな
つもりじゃ…
……
……
どうして？
おねぇちゃんは…
わたしが
すきじゃないの？
すっ…好き
だけど
こ・う・い・う
のとは…
すきなのになんで
いやがるの？
すきなひととは
こ・う・するんだって…

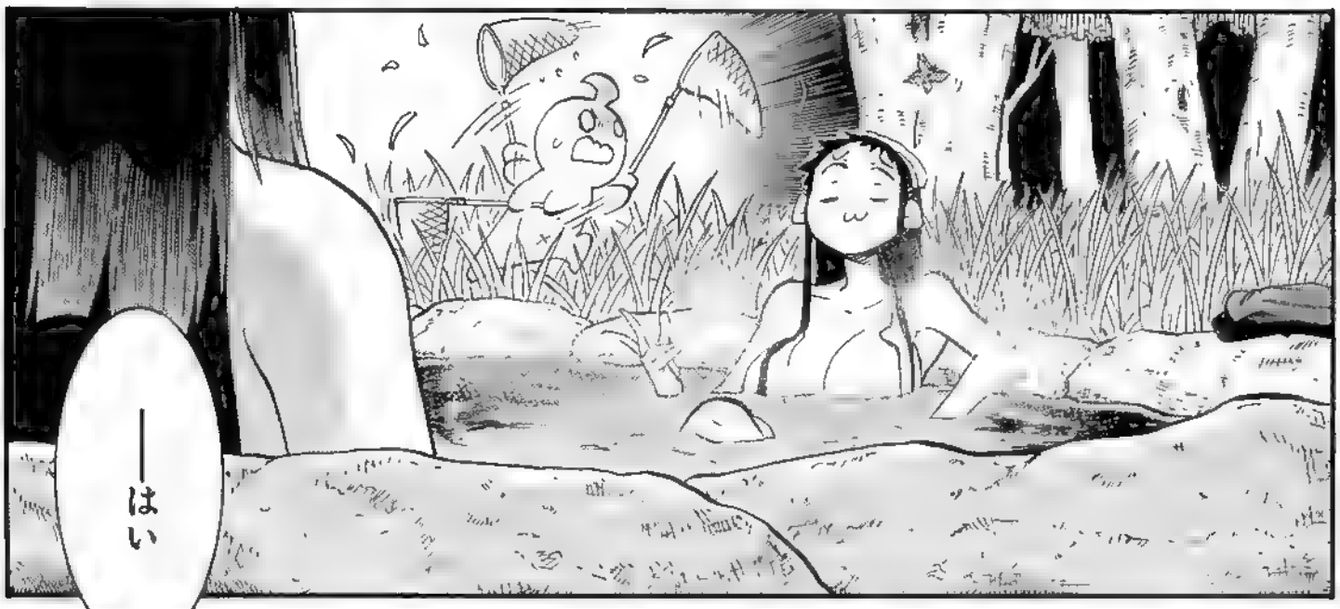
？
おねぇちゃん？
ダメよ
美禰子はまだ
子供でしょう
子供に子供の
お世話は
できないわ
おねぇちゃん…
どうし…っ

第143話

山津神家の一族⑫

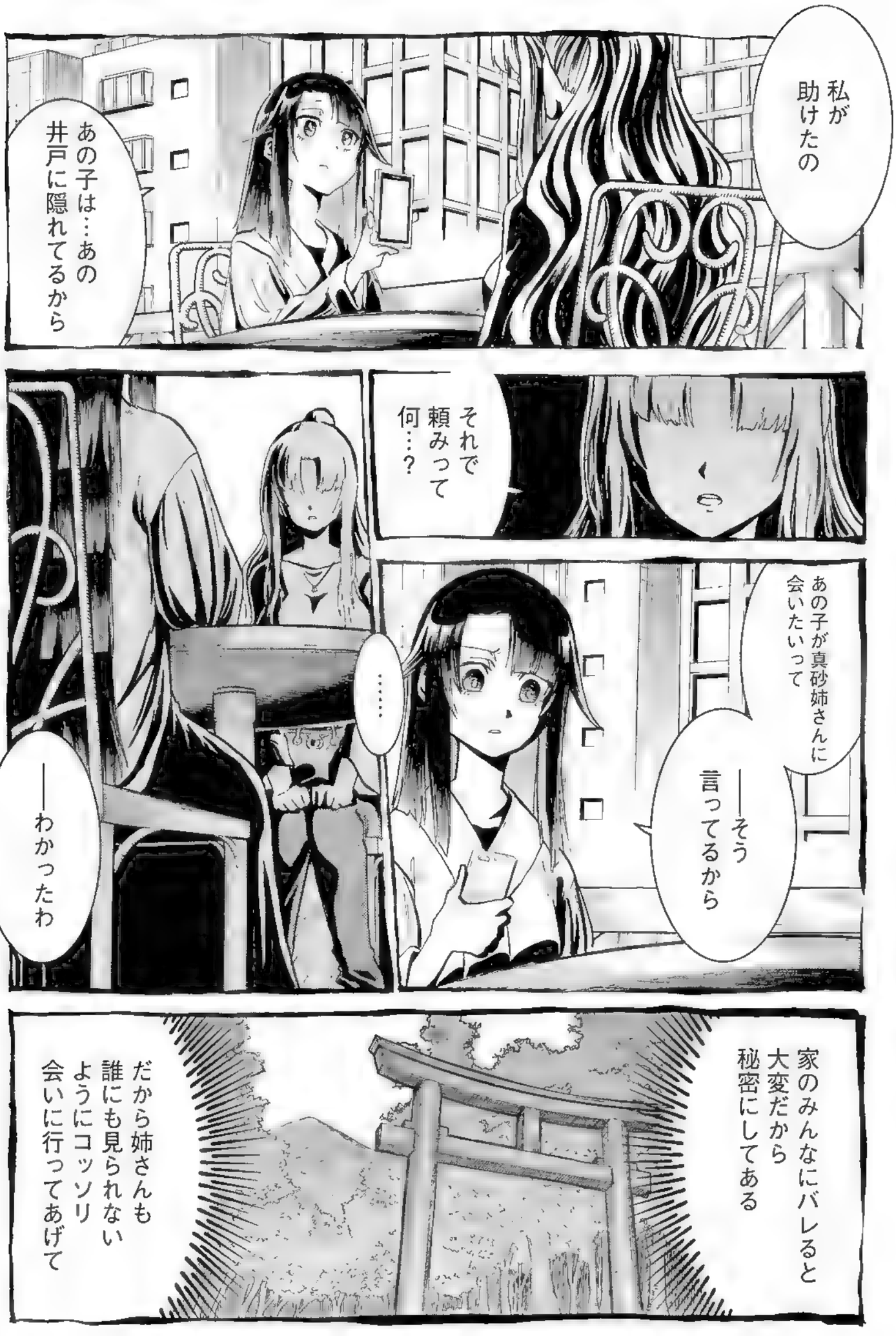
MURCIÉLAGO

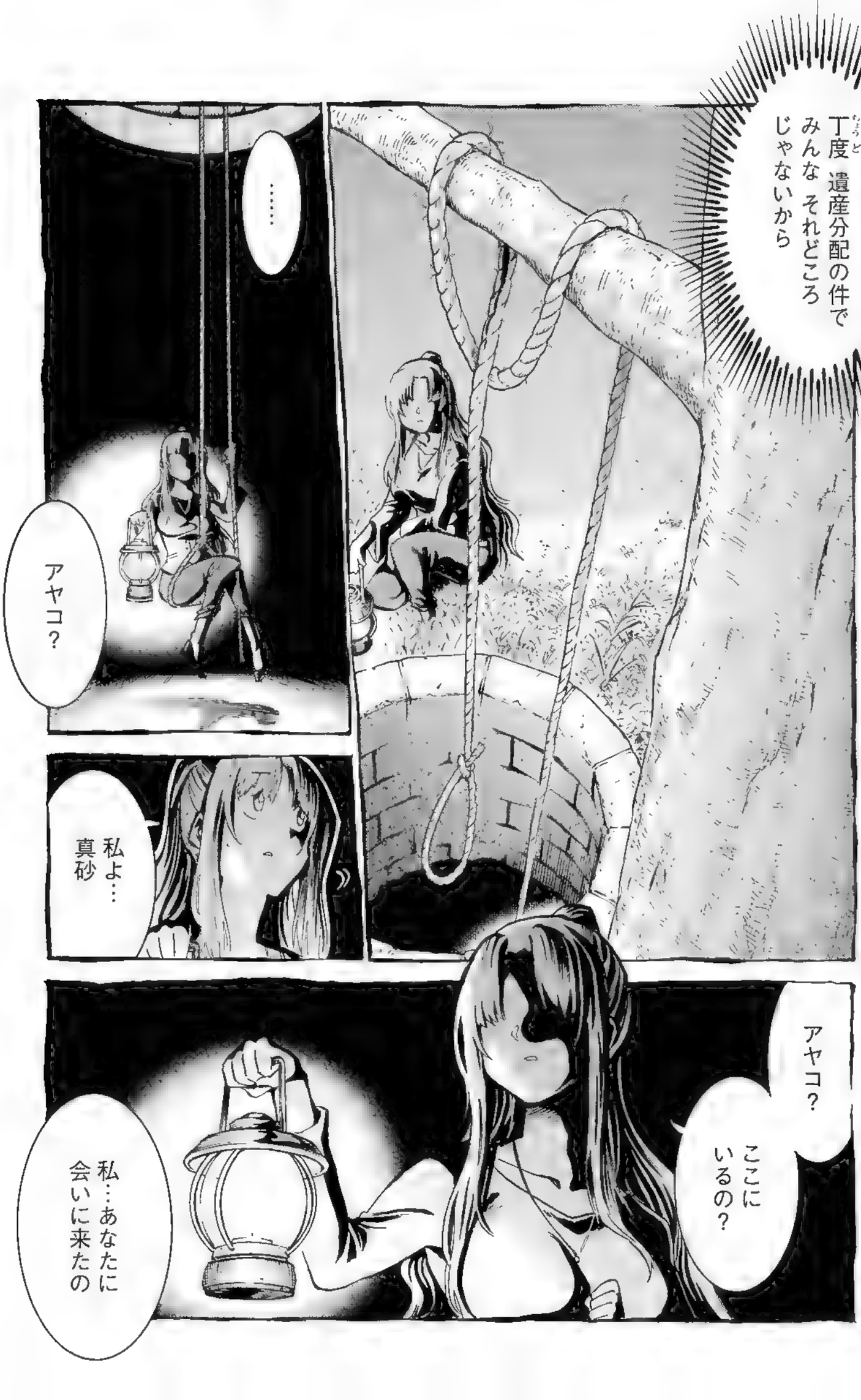
ゴー
MURCIÉLAGO
ムルシエラゴー
……
おのれ…
――それで殺したんだ？
多分…最初に
次女を
真砂さん



MURCIÉLAGO
―ムルシエラゴ―

よしむらかな


私が助けたの
あの子は…あの井戸に隠れてるから
それで頼みって何…？
あの子が真砂姉さんに会いたいって
——そう言ってるから
……
——わかったわ
家のみんなにバレると大変だから秘密にしてある
だから姉さんも誰にも見られないようにコッソリ会いに行ってあげて

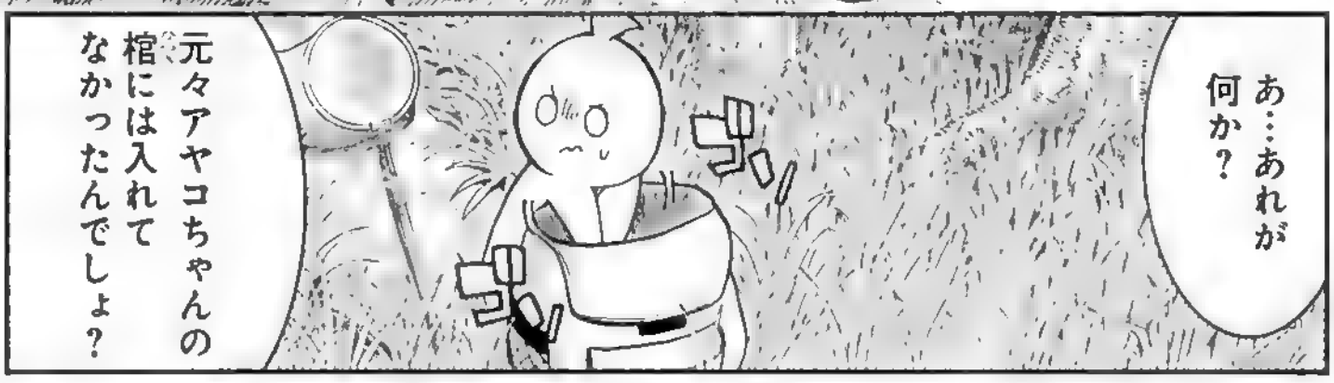

丁度(ちょうど) 遺産分配の件で
みんな それどころ
じゃないから
……
アヤコ？
私よ…
真砂
アヤコ？
ここに
いるの？
私…あなたに
会いに来たの

お
ねえ
さま？
！
アヤコ…!!
まあ…
こんなに髪が
伸びて…

切(き)っ…
その後
首を切って…
私と同じ着物を
着せました

着物を床に敷き詰めたのは？
暗くて証拠を残したままの可能性が高かったので…
それを隠すために…
その場しのぎですけど私達が逃げる時間を稼げれば…
！
あの…すみません
刑事さん…死体の入れ替わりを見抜いたのはその…おっ…ぱいの大きさとか言ってましたけど…
はい
きゃ
きゃ
あんなに暗い場所で…
も…もしかして触った…とか？

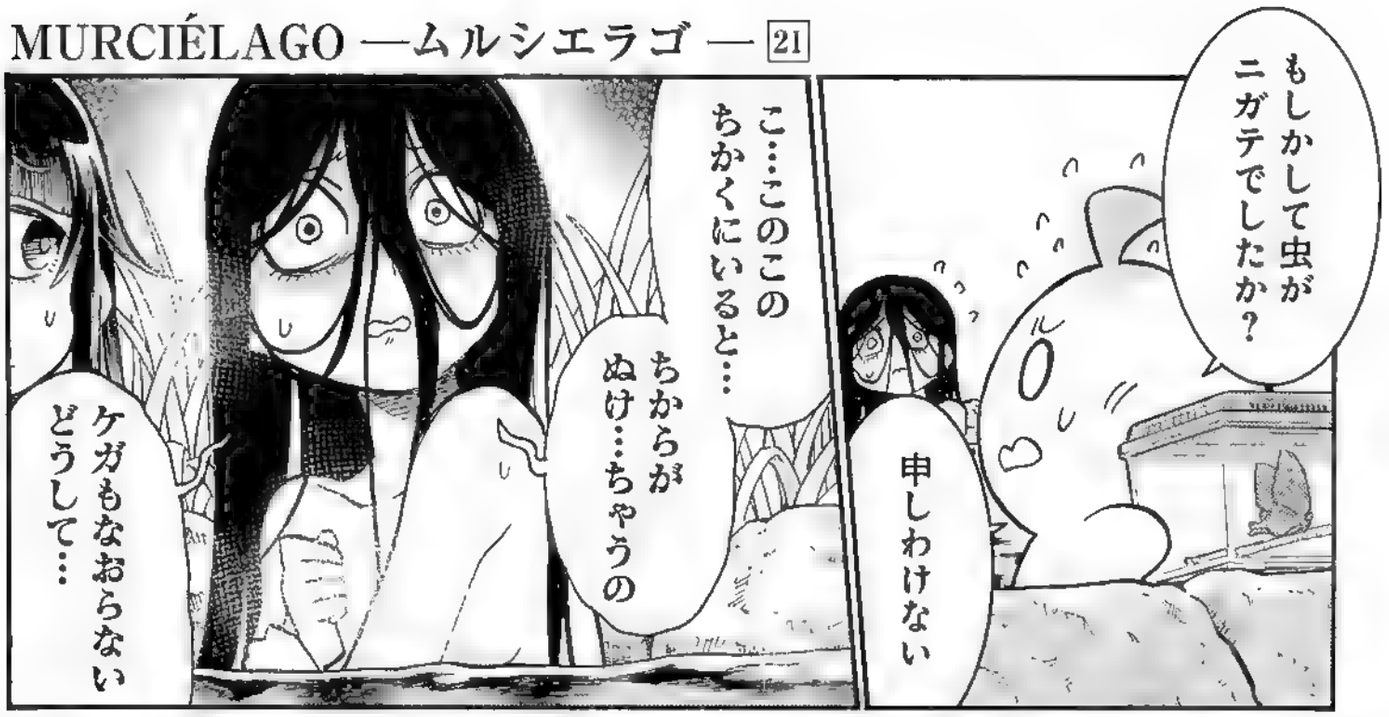
スマホのライトも
あるし 見たら
大体わかるけど…
まあ あとはホラ
だるま落とし
長男殺害の
見立てに使ったやつ

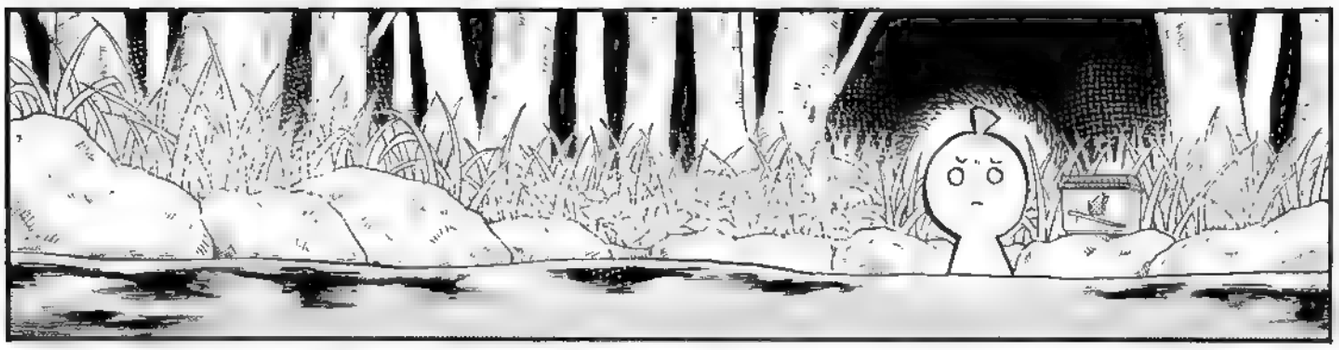

あ…あれが
何か？
元々アヤコちゃんの
棺には入れて
なかったんでしょ？

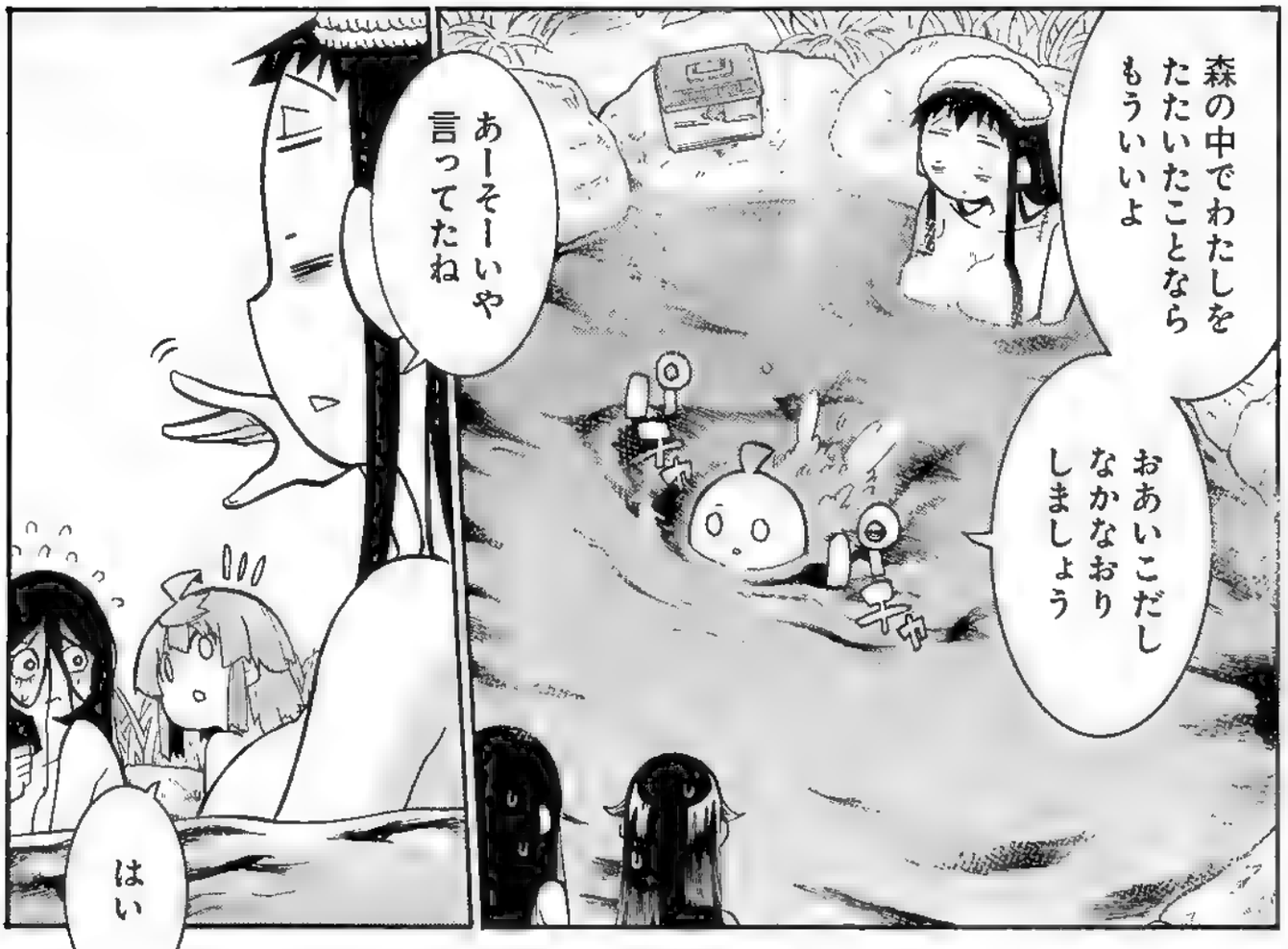
——聞こえて
たんですか
たしか
美登利さんが
言ってたね
森に美登利さんを
連れていくのを渋ってた
のは あれが理由だね
美登利さんの発言は
コントロール
できないから

ともあれ長男の死体からは だるま落とし よろしく胴体の一部がなくなってたけど
よく考えたら変だよね？
さっき言った本来ない物ってのもそうだけどさ
他のおはじきやお手玉は口に詰め込まれてただけなのに
AHA!
だるま落としだけそれらしく見立てたのは…
入れ替わりの死体の首がなくなってることの不自然さをゴマカすため…かな？
——もうそこまでわかってるんですね
あ 当たってた？

それより見てくださいよ
「これ」を…
うわビックリした
何よひな子
フフのフ
Bloody Ageha
ついにゲットしましたぞ…流々家(ルルイエ)四天王の一角
ブラッディアゲハを
……
どうしたの？アヤコ…

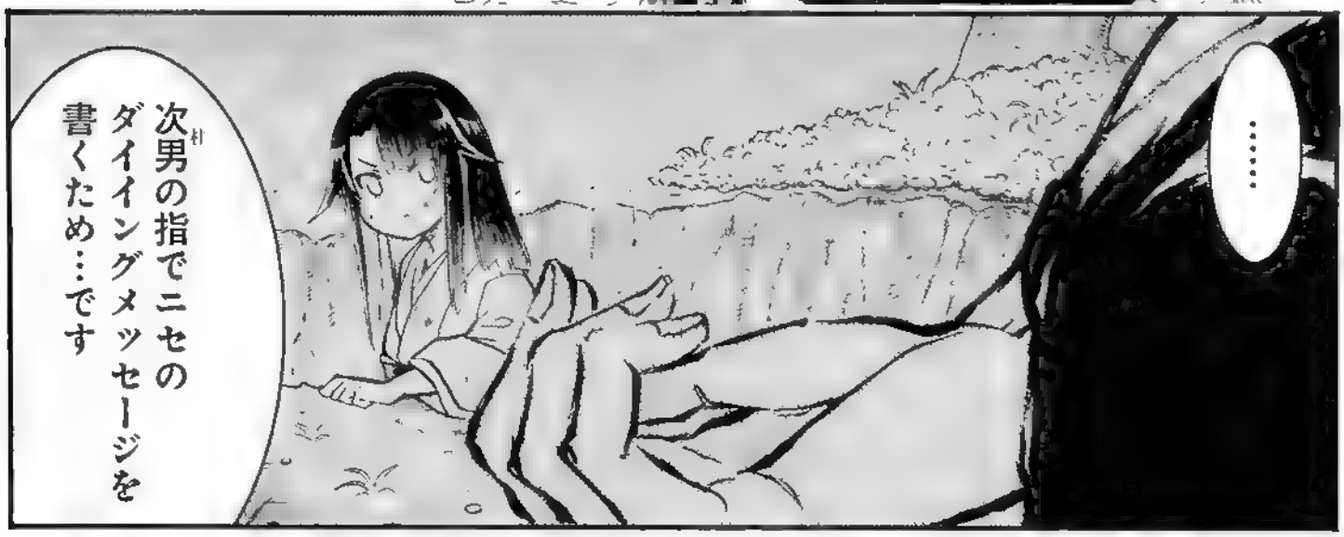

もしかして虫がニガテでしたか？
申しわけない
こ…このこのちかくにいると…
ちからがぬけ…ちゃうの
ケガもなおらないどうして…




森の中でわたしをたたいたことならもういいよ
おあいこだしなかなおりしましょう
あーそーいや言ってたね
はい

ニコッ
スピ
——うん
おお…
なかなおり…
する…
よかよか

次男の検死を
医者の長男にって
言い出したのも美禰子
ちゃんだったね
はっ…はい
その後 転んで
一人残ったのも…
スィ〜ム

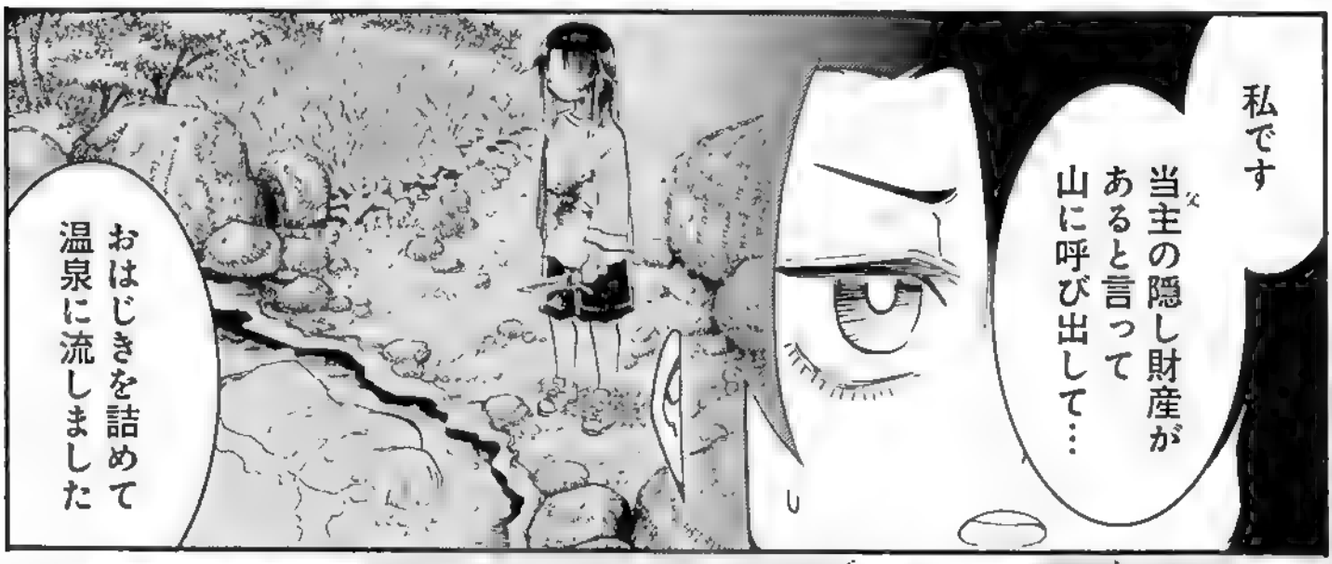

……
次男(村)の指でニセの
ダイイングメッセージを
書くため…です

「逆さマサゴ」の
ことね
あれで長男を
釣り出したと
長男と次男(人)を
殺したのは…
……
アヤコちゃんだね

どっちも普通の力じゃできそうにないし
特にスコップ…シャベル？の一撃
あれは鮮やかでしたね
あそこで次男を殺したのはなんで？
アヤコの復讐をチラつかせれば
臆病な柱は絶対棺を確かめようとする

しかも怯えていることを人に知られたくないから…
まず夜中に一人で行動を起こすはずだと思いました
図に当たったわけだ
ともだち…
はい

三男の死体は…
次男をおびき出すためにも
大っぴらにしなきゃ
いけなかったんだね
殺したのは
どっちかな？


私です
当主の隠し財産が
あると言って
山に呼び出して…
おはじきを詰めて
温泉に流しました

あれのせいで温泉
入れなかったんですけど
あたし
ごっ…
ごめんなさい
ぷ
ぷ

――で
仕上げに全ての罪を
女将に押しつける
自殺動機も
でっち上げやすいし
適任だったってことかな？
……
その通りです
あっ
じゃああの遺書
ホントだったんだ
まぁ
実の娘が監禁されてる
ってのに黙って従ってた
ような母親…
殺されても うん
別に…ってカンジだね
首吊りのロープは…
井戸に降りるのに
使ったやつかな

あの長さ…というと吊り橋のロープがいくつか抜けてたやつ
橋を落とせば証拠も逃げ道もなくなって一石二鳥
どうやって橋を落としたかは…
……
まあ大体わかるからいいか
…あの
さっきから…殺人を肯定するようなことばかり…
どうしたの？
本当に…刑事さんなんですか？
……

それは美禰子ちゃん
たちがカワイソウ
だからだよゥ
さっきの説明…
全部がホントとは
思えないけど
……
美禰子ちゃんと
アヤコちゃんの間の
愛情♡はホントだと
あたし思った

それに一生懸命頑張って入れ替わったのに…
先がないんだもの…
——わかってます
だから全部話したんじゃないですか…
全て私の…計画だって
アヤコは私の指示に従っただけです
悪いのは全て私です
だから…
……

ちっ
ちがうよ!!
わぷっ!!
わたしだって…
ひとをころした
わたしのいしで…
したかったんだ

だっ…
だから
アヤコ…
そういうのは
裁判でネ

でもまァ大丈夫
逮捕はしないよ
パコス
言ったでしょ
あたしオフだって

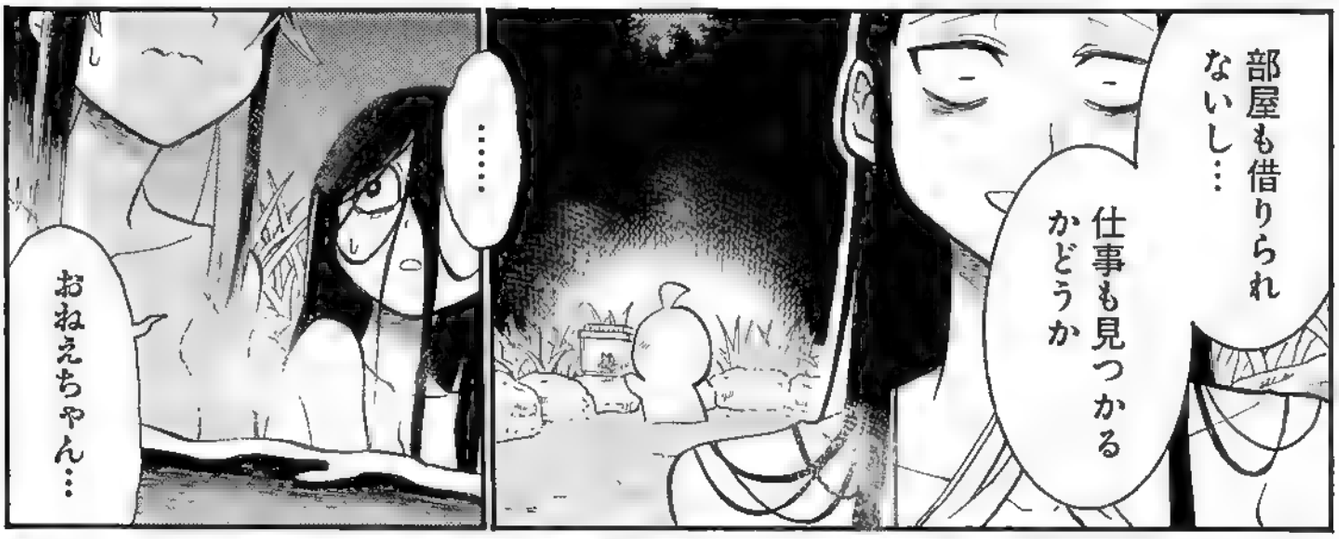
ブクブク
ブクブク…
は…？
え…っ
でも…
何よりそのお互いに
かばい合う姿…
泣かせるじゃ
ありませんか
ナデコ
ナデコ
あたし人情派刑事(デカ)
なので…
先がないってのは
別の話でさ

入れ替わって逃げられたとしてその後どうするつもりだったの？
そっ…それは
アヤコと二人で…
どこかで静かに暮らせたら…

どうやって？
美禰子ちゃんは死んでるんだよ？

アヤコちゃんも多分…戸籍上はそうなってる
ピッ
そんな状態でどうやって生活するの？
……

スー


部屋も借りられないし…
仕事も見つかるかどうか
……
おねえちゃん…

ふっ…二人で力を合わせればきっと…
無理だね
一時しのぎはできても早晩行き詰まる
100%ね
――っ

第144話
山津神家の一族⑬

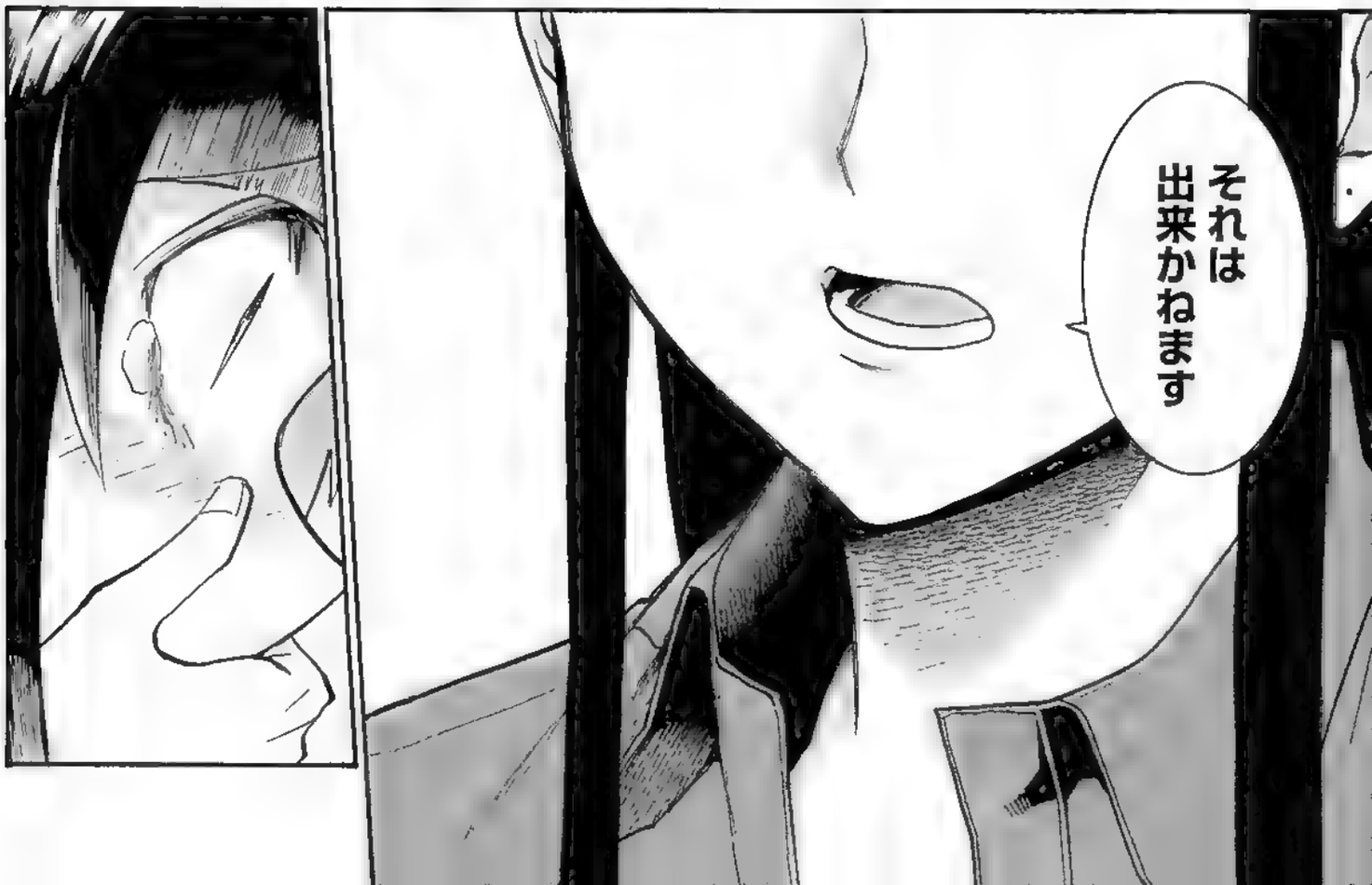
MURCIÉLAGO

MURCIÉLAGO

……
――首吊り状態で見つかりました
自殺でしょう
そう…ですか…
哀里(あいり)さんが……
ぴらっ
彼女の懐にあった遺書です
MURCIELAGO
ムルシエラゴ

遺書(これ)によると…
…いえ結構です
……

すみません刑事さん……少し
うっ…
一人に…


それは出来かねます

MURCIÉLAGO
ームルシエラゴー

よしむらかな

聞いてくださいますか？……
聞いてくれるだけで結構ですので
どうぞ
……
……

——やはり
アヤコが閉じこめられる
ことが決まった あの時
妹たちとアヤコを
連れて家を
出るべきでした
そうしていれば…

美禰子まで犠牲に
なることはなかった
はず…
あの子は何も
悪くない…のに
私が…なんとしてでも
守ってあげるべき
だったのに…
……
うっ…
うっ…

わたしがですか？
うん

あたしは事件の事後処理に行かなきゃなんないので…
ひな子は二人と一緒にいてあげてよ
私達と一緒に…？

せっかく仲直りして友達になったんだし
虫のいる場所とか教えてもらったら？
きっとこの山には詳しいよぉ～～～？
ヒソヒソ
ヒソヒソ

よろしい
わたしにまかされよ
ひな子が一緒にいればアヤコちゃんが暴走することもないだろうし
美登利さん
……
今は…休んでください

なるほど…
あんたらか
……
俺を救ってくれたろう

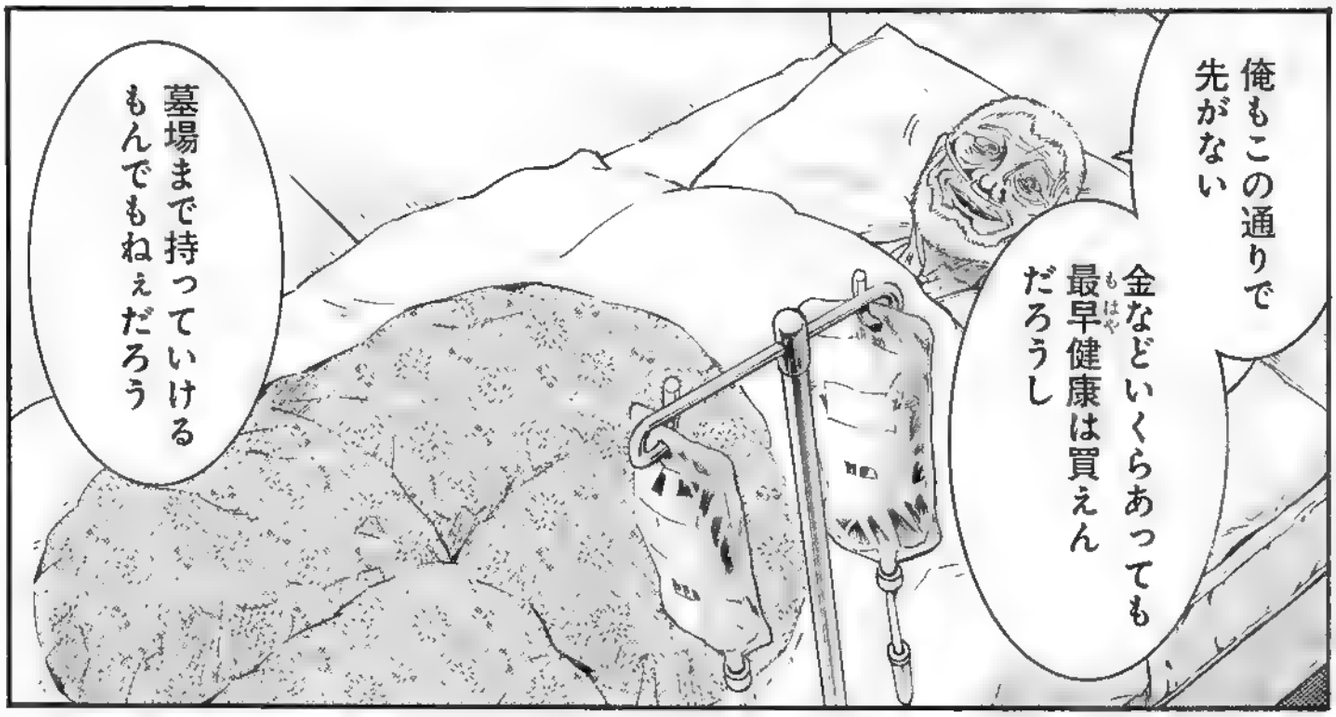
余計なことを
あらっ？

……
まぁ構わん
美登利が連れていた弁護士か
そこの男…

なんの用だ？
影山と申します
あーしではない…

率直に申し上げます
この山を売っていただきたい
……
ほう…
美登利さまからは…
いいだろう
……
は？
買いてぇってのはそこの娘か
まぁ…代理人だろうが
そ…そんな簡単に…

簡単なものか
……
SUTEKI
考えてみろ
後継ぎは全て殺され
残ったのはいずれ嫁に行く
美登利だけだ


俺もこの通りで
先がない
金などいくらあっても
最早健康は買えん
だろうし
墓場まで持っていける
もんでもねぇだろう

それに…まあ
余計…とはいえ
命の恩人の頼みは
断れんよ
ふぐ
しびれた
……

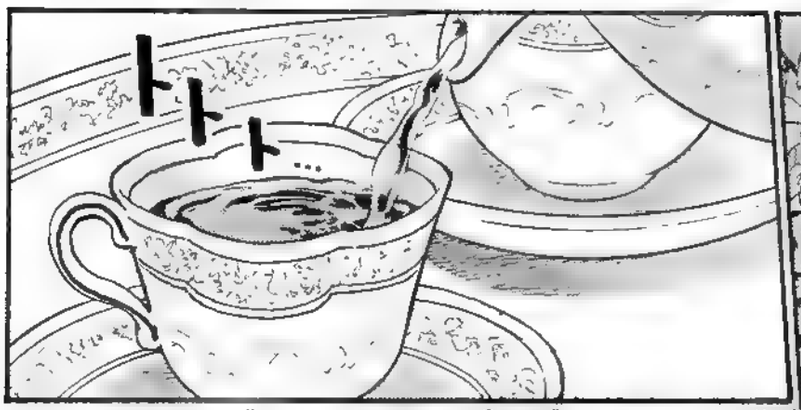
そうだな 山を
売った金は…
美登利にでも
くれてやろう
いい人
じゃん。ね？
……
残った財産は
どこぞかへ寄付(持て)しち
まうのもいいか

影山弁護士
遺贈寄付の手続きは
任せても構わねぇな？
…もっ
勿論(もちろん)です…！
…クク

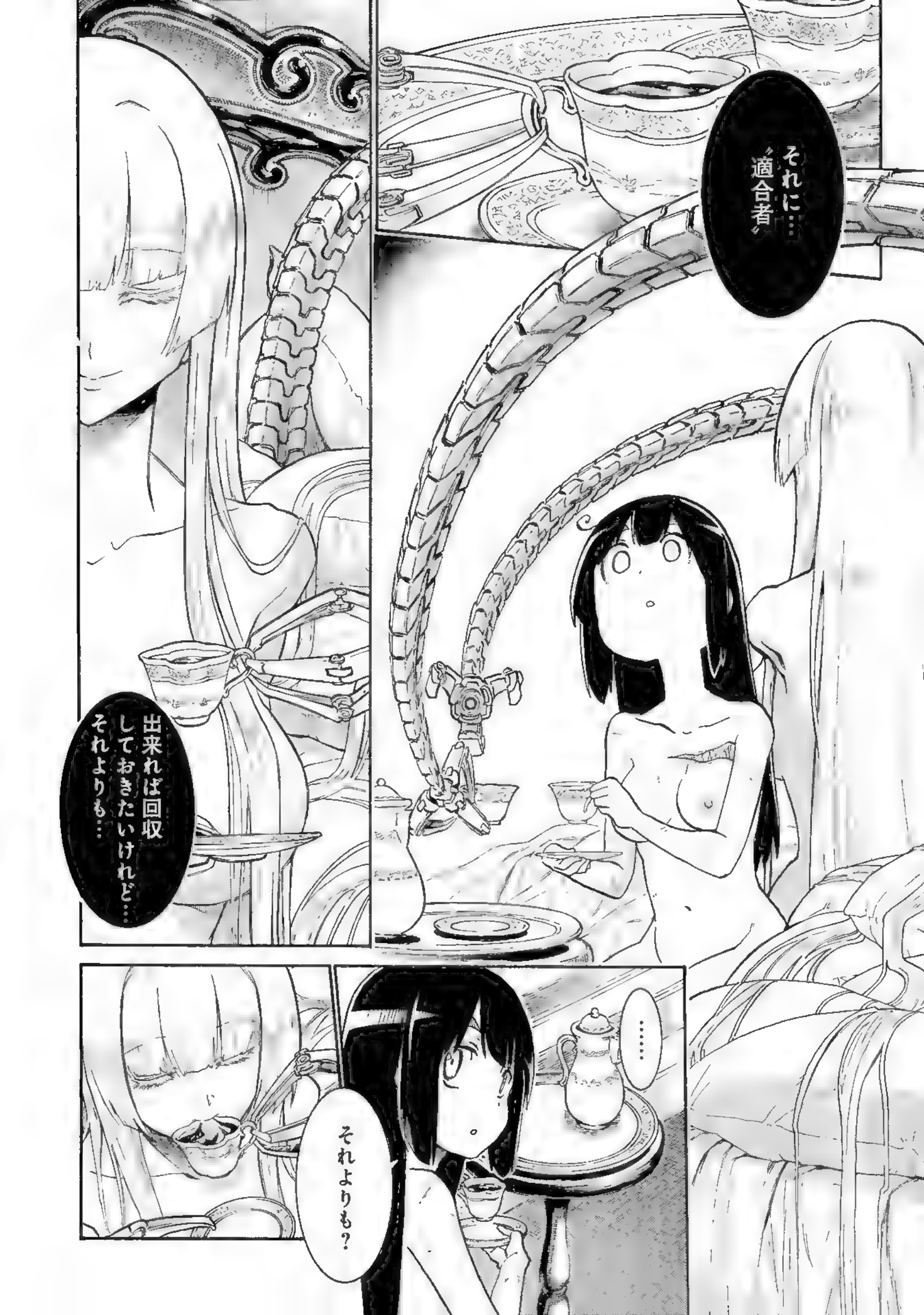
数々あくどいこともやってきたこの俺が…
っ…と
ムク…
篤志家(とくしか)として名を遺(のこ)すのも悪かない
入院先もさっさと手配してもらうぞ
入院…？
何も今すぐに死にたいってわけじゃねえが…
ゲイッ
売ると決めた山(トコ)になんぞ居られるかよ
ところであんたら…
いくらで売ってほしい？

ご主人さま
例の山が手に入るそうです
山？
なんの話ですか？

〝薔薇〟が
見つかったのよ
〝薔薇〟って…
教団で育ててた…
なんとかって薬の
材料だって あの
〝薔薇〟ですか？
カチャ

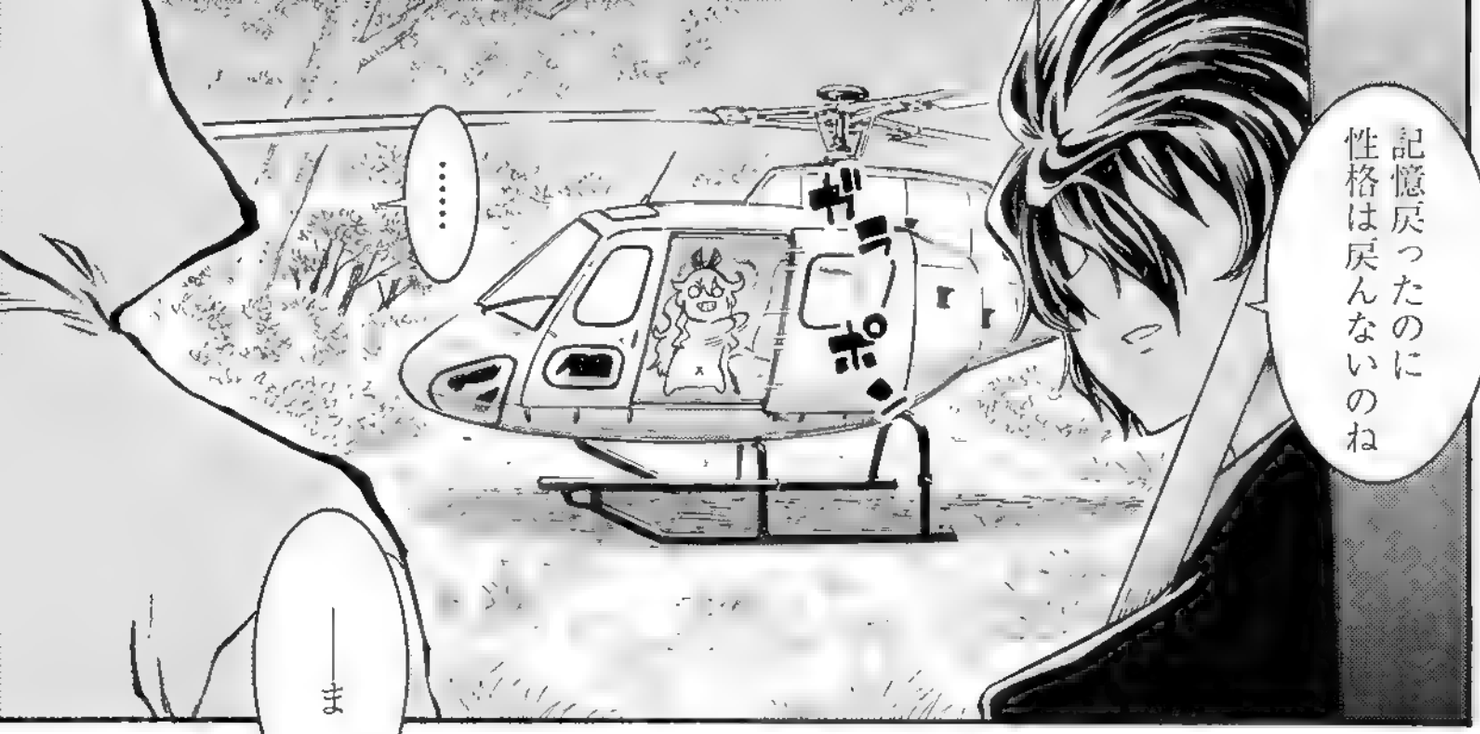

トトト…

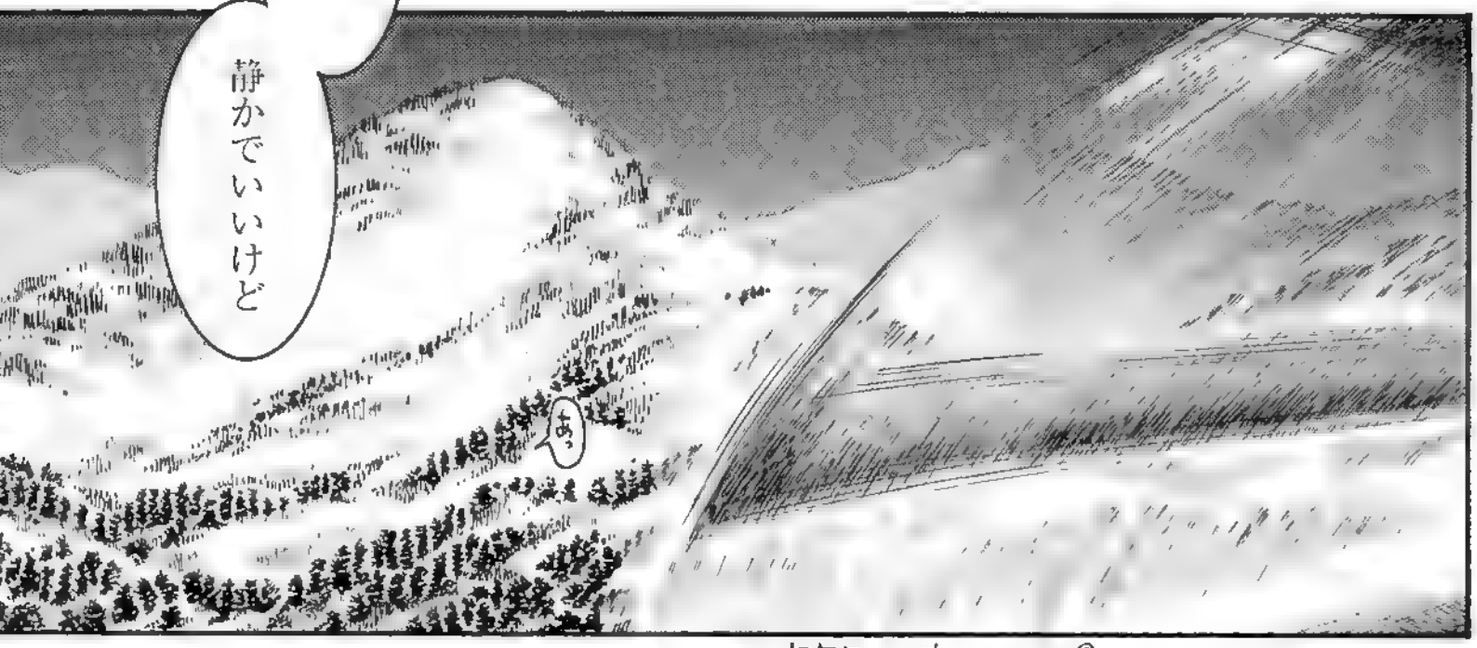
正確にはそれと
酷似した〝薔薇〟
あれは…本来
自然界に存在しない
ものなの
あの山には他にも
数種の突然変異体
……
真っ赤な蝶や
金属質の甲虫などが
見つかるようね

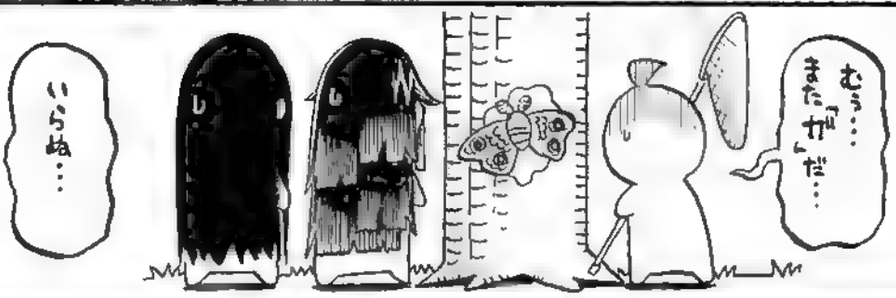

それに…
〝適合者〟
出来れば回収
しておきたいけれど…
それよりも…
……
それよりも？

あの山にあるだろう
原因の方が気になるわね
美味し
〝屠桜の始まり〟
が…ね

――妹に会った
――そう
なんで戻ってきたの？
……
人殺しの兄貴だ…今更
そう


記憶戻ったのに
性格は戻んないのね
……
ガラ
ポン


ま——
静かでいいけど
あっ


むう…
また「ガ」だ…
いらぬ…

神国統合病院

おつかれ
美禰子ちゃん
復讐は
完了かしら？
――ありがとう
ございます
……

ところで美禰子ちゃんさ
ピロピロ
あたしず——っと思ってたんだけど…
アヤコちゃんにイタズラしたって真砂さんを殺したけど…
ヤヤヤ

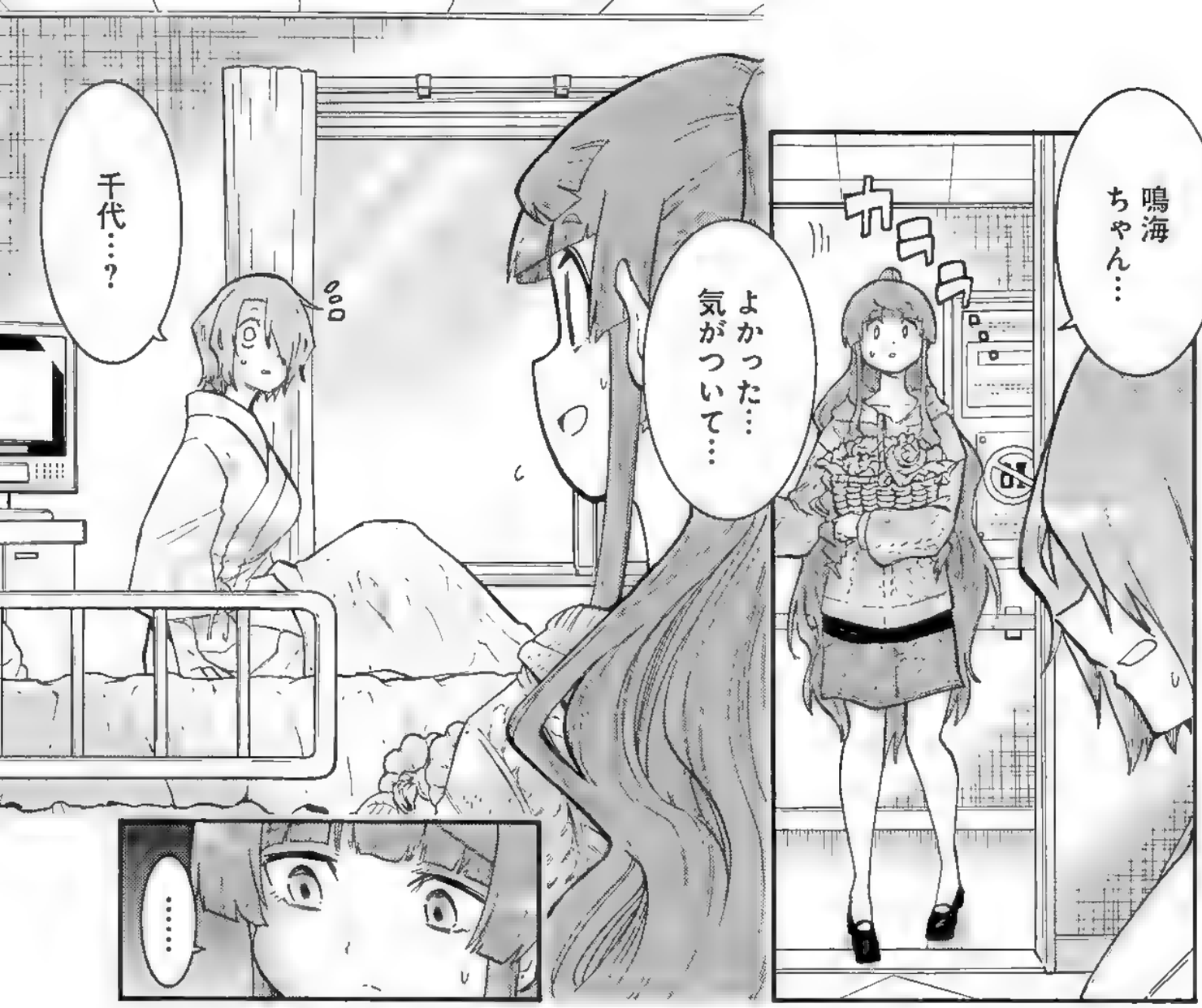
第145話
山津神家の一族⑭

MURCIÉLAGO

MURCIÉLAGO

うわぁあっ!!

はぁ…
はぁ…
はぁ…
は…
――は？


千代…？
鳴海ちゃん…
よかった…気がついて…
……

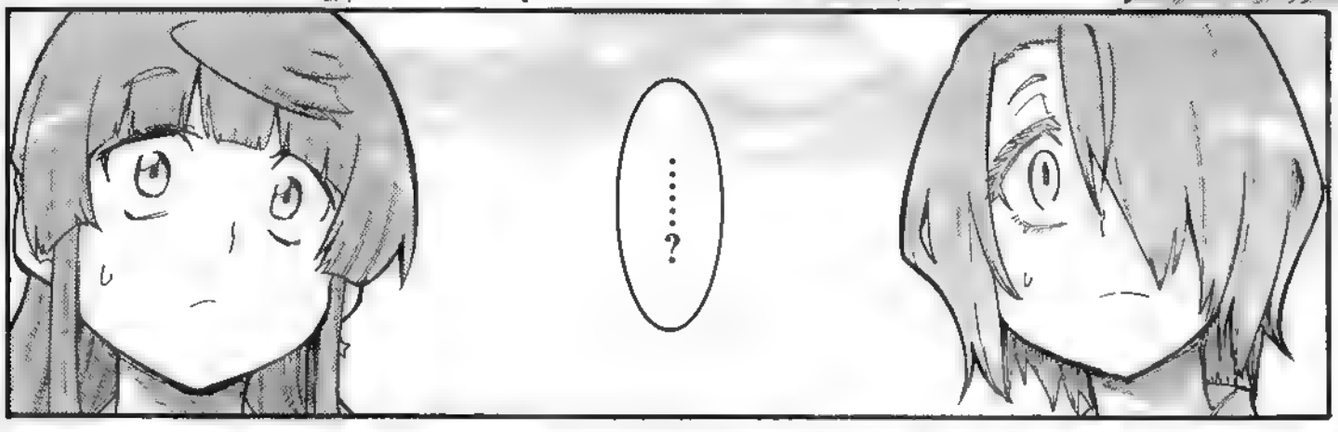
その…腕のことなんだけど…
腕…？
――ああ
確か切断されたはずだよな…
動くし…感覚もある…けど
治った…のか？

な
柳田総合病院
なんじゃこりゃあ!!

何って…
私特製のスーパー
ステキハンドだけど？

ス…？
SSH
問題なく
作動してるみたいね

私が繋いだのよ
神経とか
ヒック
一本一本
は…話についていけねぇ…
ということで
私の勝ちなのだ



MURCIÉLAGO
―ムルシエラゴ―

よしむらかな

つ…
使い方？
これの？
そ
「スーパーステキハンド」の
「スーパー」の部分
じゃあ まず
こうやって
合掌（がっしょう）
が
合掌
！
し〜
し

おお？
手のひらに電極がついてるからね
－
＋
＋と－を合わせて充電できるわけ
……
充電できるとどうなるん…すか？
手のひらがピリピリするぜ

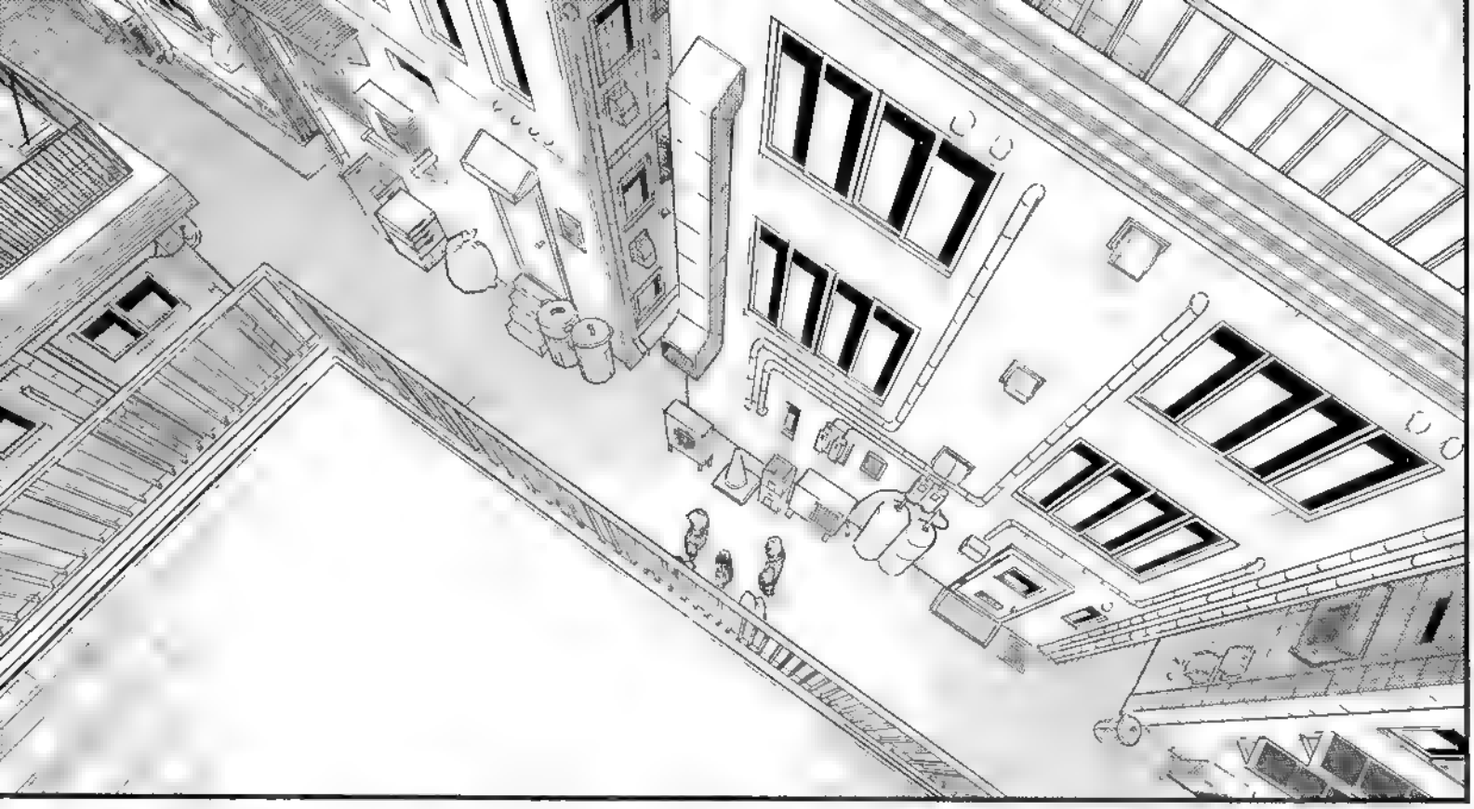
ニヤァ…
それじゃあ…
へ？
実験体（モニター）よろしく

ほうじ茶
血液の代わりに流してほしい
ほどおいしい
にんじんサラダ
細切りにんじんに塩コンブと
ゴマ油を和えたもの
パリパリでサワヤカ!
ビーフストロングダノフ
ビーフ…ビーフストロング…
ビーフ…ストロ…ガノン…
ド…ドロフ…?
牛うな丼
ひな子のよくばりによって生まれた
一緒に食べても 別々で食べてもオイシイ!
おおお
おおお
牛うな丼に…
ビーフストロング
ダノフ…!
ヨーグルトアイス
自家製ヨーグルトアイス
フルーツが乗っていておいしそうだが…
くーちゃんよ…それで足りるのですかな…?
す…すごい
取り合わせだ…

フフのフ
重そうに見えて梅干しがいい仕事をするのです
え…でも うなぎと梅干しって……
(食べたくなさそ…)
あーそれ俗説でさ ホントはむしろ いいらしいよ
ですってよ!!!

それではっ…
いただき
まあ…

あっ
……
あー…
ドモ…



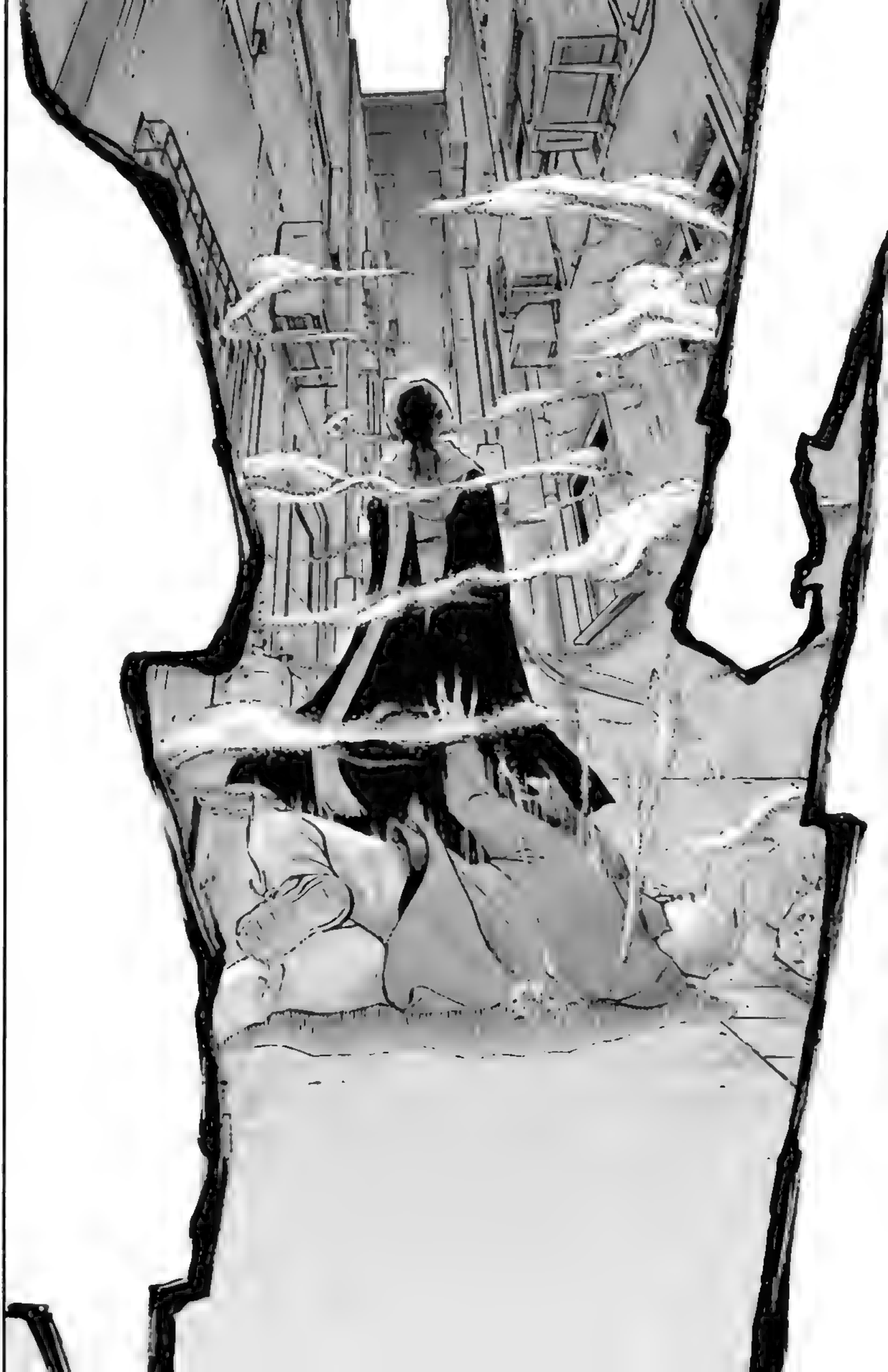
恨むならバカな父親を恨むんだな
うっ…
ぐすっ

お前は売られたんだよ
うっ…
1000万分 しっかり稼いでもらうぜ
うっ…
ふえ…

ちょっと
スミマセン

今 取り込んでんだ
道開けな 兄チャン
道に迷ってしまって…
この場所へは…
聞こえねぇのか？
スッ
MAP

どけっつってんだろ
ドン
――女？
？

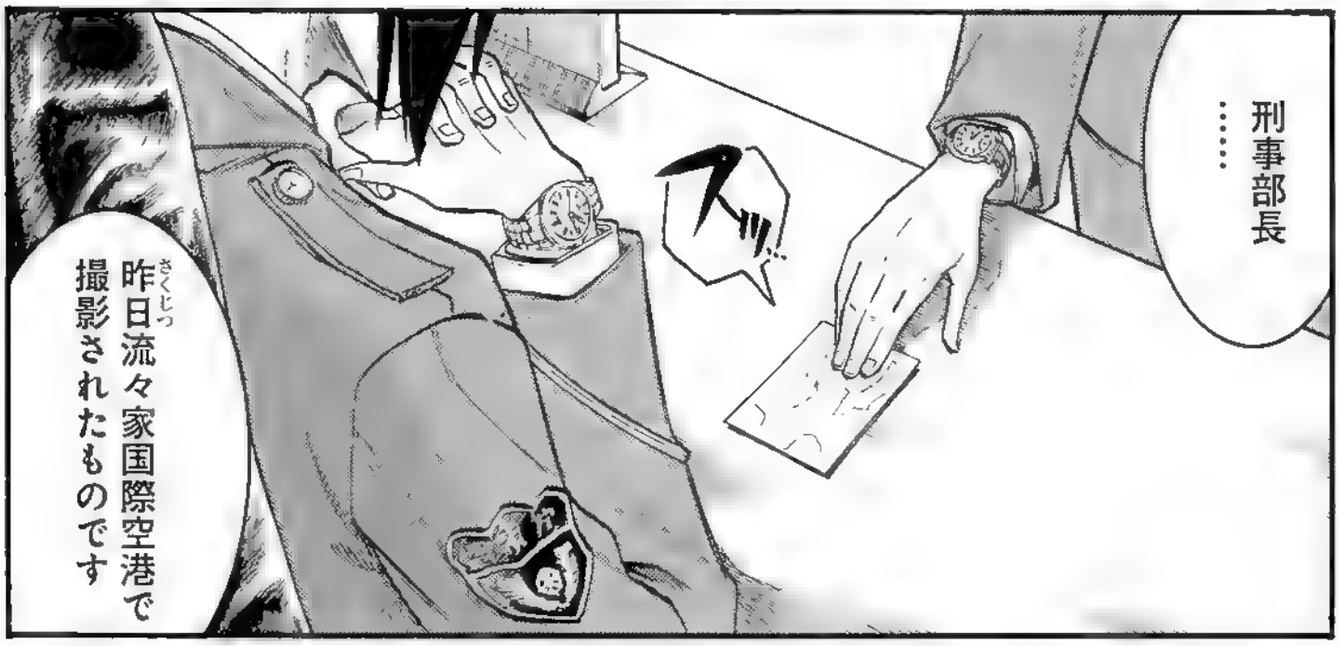


なッ…
何しやがった!?
テメ…
エ…

あ——
ありがとうございます…
私…
キョロキョロ
キョロキョロ
道は別の人に尋ねればいいか
……？

今は 人目も
ないし…
君に決めた

警視庁


刑事部長
……
昨日流々家国際空港で撮影されたものです

……
公安と入国管理局は一体 何をやってた…

国際指名
手配犯…
調香師（パフューマー）
セリーヌ＝アルジョンテ

早急に捜査
本部を立てろ

第146話
銀の幽香（しろがねゆうこう）

大きな謎と、作品の核心に迫るシリーズ“銀の幽香”開幕――

第㉒巻、2022年夏頃発売予定――

※単行本発売時のまま収録しています。

彼女が来日した目的は…

彼女の異名・調香師（パフューマー）とは…

さらに白亜（はくあ）が言う"屠桜（とざくら）の始まり"とは…

MURCIÉLAGO

BONUS CONTENTS

ドゴ
きゃ

仰向けになってください

大丈夫
リラックス
してください
さわり
ますね
ひゃわ
く…
くすぐったい
です…

わ
くちゅ
じゃあ一本挿れますね
は…はい
しばらくこのままでいましょうか
ぐぐぐ
ぐぐぐっ!!

く…くろこさん…
も…もう…
せ…切ないです…
キュ…
私…っ
―わかりました
浅いところ圧迫しますね

MURCIÉLAGO —ムルシエラゴ— 21 おわり

MURCIÉLAGO

凄腕スナイパー。朽葉玲子。
彼女への依頼、全て「殺し」。
好評発売中!!
※単行本発売時のまま収録しています。

MURCIÉLAGO スピンオ

ームルシエラゴー

MURCIÉLAGOBYPRODUCT

ARANA

ーアラーニャー

原作:よしむらかな　作画:アラカワシン

コミックス全⑤巻。

デジタル版　Ver.1.00

ヤングガンガンコミックス

MURCIÉLAGO
ームルシエラゴー

21

2022年３月25日　Ver.1.00発行

著者
よしむらかな

© 2022 Yoshimurakana

発行所
株式会社スクウェア・エニックス

担当編集
磯田大輔

装幀
横濱 匠（ビーワークス）

初出／ヤングガンガン 2021年No.17～No.19、
No.21、No.23、No.24、2022年No.02

＜ページ抜け・誤植・内容についてのお問い合わせ＞
スクウェア・エニックス　サポートセンター　http://sqex.to/jp_manga_support
＜ビュワーの不具合・再ダウンロードできない等、販売に関するお問い合わせ＞
本作品を購入された電子書籍書店のサポートセンターにお問い合わせください。
この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。
本作品は、作品のオリジナリティを尊重し、台詞や表現を発表当時のまま収録しています。
あくまで作品世界の中での表現であることをご理解ください。
また、各種情報や表示価格などを単行本発売時のまま収録していることにより、
その後の情報と異なっている場合があります。
本作品の内容の一部あるいは全部を、著作権者、出版権者等の許諾なく、
転載、複写、複製、公衆送信（放送、有線放送、インターネットへのアップロード）、
翻訳、翻案等を行うことは、著作権法上の例外を除き、法律で禁じられています。
これらの行為を行った場合、法律により刑事罰が科せられる可能性があります。

EXTRA CONTENTS ‼ カバー折り返し

よしむらかな

不毛の大地
春を呼ぶ音色
ブコブコブコ

※コミックス発売時のカバー折り返しを収録

※コミックス発売時の表紙 表を収録

※コミックス発売時の表紙 裏を収録

※コミックス発売時のカバー裏を収録